臺灣日日新報　夕刊
十二月六日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人　佐々木
發行所　臺北市榮町四丁目　臺灣日日新報社

銘酒　楓白鹿

我空軍の大威力 今や全支を制壓

國府は全く絶對絶命

【東京六日發同盟】我が海軍航空隊が四日長驅甘肅省の蘭州飛行場を空襲し敵空軍に殲滅的打擊を與へた事は第一回の南昌渡洋爆擊を遙かに凌ぎ、我が航空戰史に最高記録を印する輝しき長距離爆擊であるが、この大空襲の結果我が海軍航空隊の實力は廣大なる支那全土に亘つて空襲を爲し得る事を證明するもので國民政府に對し何處まで逃げても駄目だといふ徹底的脅威を與へる事となつた、即ち蘭州は大連より約千六百粁、天津より千二百餘粁、上海より千七百餘粁の距離に在るが我が海軍航空隊が何れの基地より出發したにせよ斯る遠距離に在る蘭州を空襲した以上支那の海岸線より大體同距離に在る寧夏、四川、貴州などの諸省も當然空襲圏内にある事になり、國民政府機關の分散移轉中最も奥地に在る重慶或は四川省の首都、成都の如きも海岸線よりの距離は蘭州に比し短き爲め空襲に對し枕を高くし得ない事が實證された譯である、一方ソ聯邦より供給されたるイ一・一六型戰鬪機或は大型爆擊機は現在歐米の最高水準に列する精鋭機であり、これ等が我が海軍航空隊との空中戰に於いて脆くも擊墜されてゐる事は今後如何なる優秀機を買込むとも無駄であるといふ事を實證するに至り、國民政府は我が海軍航空隊の猛威に對し奥地に逃げる事も優秀機を補給する事も觀念せざるを得ざる絶對絶命的窮地に追込まれ今や我が空襲の大威力は全支の大空を隈なく制壓するに至つた

南京まで廿粁

包圍圏愈よ壓縮

【東京六日發同盟】大本營陸軍部六日正午發表、磨盤山系の嶮を越え前進中なる我が部隊は五日午後三時各々句容北方地區及び索墅鎭（南京東南方約二十粁）を通過し敗退する敵を追撃中にして南京に對する我が包圍圏は愈々壓縮せらるゝに至れり

砲聲南京に聞ゆ

東方から斷續的に

【上海五日發同盟】安慶の敵第三戰區の情報に依り南京の恐慌は一層の眞剣味を加へ、諸情報を綜合するに落城の前夜を思はせる、五日の南京市内は愈々戰線が近づいた事を告げる砲聲が遙か東方より斷續的に傳つてゐる、對岸へ避難する農民の群は引きも切らない、空家と化した街を廻つて張り廻らされた鐵條網に巡警と交代して正規兵が警戒に着いた、尚米國大使は南京の危險切迫に依り殘留米人三十一名に對し軍艦パネーに避難命令を發した

皇軍が占據後の○○と○○○

驅逐艦○○赤澤艦長談

【○○五日發】五日未明○○から○○に歸つた驅逐艦○○赤澤艦長は潮州方面の狀況について左の如く語つた

一、潮州の○○○と○○○は支那保安隊を完全に驅逐して現在日本海軍が占據して居るが、○○○の方は大きく直徑十里位の島で浅瀬島よりはズツと大きい、此島は人口九千、○○○の方は四千居る島民は實に細小で甘藷作を主とする半農半漁で暮して居るが文化の度は非常に低く、文字を解する者の如きは一村に一人か二人と云つた有様で誠に簡素で且つ貧弱な生活を營んで居る、島人は日本海軍のお蔭で實に安全無事の島となつた、やるなら是非徹底的に國民政府をやつて貰ひたい、吾々は今支那軍隊から掠奪を受ける憂ひも全くなくなつてこんな嬉しい事はない、と異口同音に感謝し、實際その感情を形の上にも現はして見せる所から見ると如何に彼等が今日迄國民政府軍隊の誅求の苛政下に虐げられて居たかが察知されて氣の毒な位に堪へないものがある、非常によく懐いて永久に此島から去らぬやうにして呉れと拜んで來る様は全く可哀想だ

一、自分は軍艦をつれて島を一廻り廻つて來たが左程衛生狀態も悪いやうではない、今潮州との交通はあるにはあるが先づ不自由で潮州の商人が大量の日常必需品は賣つて呉れぬ相で、マッチ、石油等の物資は拂底して困つて居るのみならず暴騰振りを示して居る、茲に面白い事は潮州の商人等は最早やこの島人を日本人扱ひにして居ると云ふ事である、潮州方面でも早く事變がおさまつて日本との貿易を早くやらして呉れと大いに切望して居る狀態で、この辺りでも心中は反國民政府の空氣は極度に擡頭したりと云つたものがある、潮州には支那軍隊が居るには居るやうだが是が積極的にどうすると云ふ事等は全然なく、支那軍の連戰連敗の狀況も最早や一般に知つて居るので潮州に居る軍隊と一般民との間も餘りよく行つて居ない様狀のやうだ

一、島人が一番不安に思つて居る事は無論金門島でもさうだが今日本海軍に護つて貰つて居る間は實に安全であるが、若しこの島と共に支那に返された場合には一體吾々はどうなるか、必ず政府として支那からひどい目に逢はされるであらうとの不安と恐怖を抱いて居る様であるが、この点は將來の日本の上からも日本として大いに考ふべき重大な問題だと思はれる

一、交通遮斷も吾々は長期から鎭めて今頭をあげて帰る事になつたが海上哨戒勤務の苦痛困難は實戰以上のもので、その衝に當つたものでないと判らない、是から先の季節風時季に於る勤務者に對して全く同情する、而もこの苦痛的封鎖が如何に膺懲支那の作戰上重大役割を爲して居るかを思ふ時益々この感を深くする、本日歸るにも船は六十五度の傾きを食ふと云ふ荒天なもので相當なものだ（終り）

劉建緒軍に兵變

兵員を増加して鎭壓

【上海六日發】確なる情報によれば劉建緒の麾下部隊に兵變が起り劉は部隊長に嚴命しこれを鎭壓中であるが大事に至るのを懼れて目下福州方面より更に兵員を増派し鎭壓に協力せしめてゐる

日支調停 一應斷つたが 斡旋繼續を切望

蔣介石が獨大使に

【上海五日發同盟】去る二日南京にて蔣介石と重大會見を遂げた駐支ドイツ大使トラウトマン氏は外交部次長徐謨と同道四日漢口に歸還し、徐謨は直ちに同地外交部にて王寵惠部長に委細報告したが、右に關し外交部發言人は五日午後漢口外交部における共同會見にて記者團に對し大要左の如く發表した

ドイツ大使トラウトマン氏は去る二日南京に到着し、直ちに蔣介石と會見、徐謨次長の通譯で約一時間半に亘り意見交換を遂げた、右會談において大使は本國政府の訓令に基きドイツ政府としては日支双方が同意するならば調停に乘出す用意ある旨を蔣介石に傳へた、蔣介石はドイツ政府の好意は深く之を謝するも支那としては日本軍が支那領土から撤退せざる以上和議の開始は絶對不可能なる旨を回答し飽まで抵抗を徹底的に行ふべき決意を有する旨を答へた

【上海五日發同盟】駐支ドイツ大使トラウトマン氏と蔣介石の會見に關する漢口外交部の發表は明瞭を缺く如く日本軍の出方を待つて初めて和議に應ずべしといふ如き強硬なる蔣介石の回答に依つてドイツの調停乘出し工作は全く頓挫したものの如き觀を與へてゐるが、事實はこれに反し、蔣はドイツの好意を深謝すると共に日本側を押へる意味合ひにおいてドイツ政府今後の斡旋繼續を嘱望したものであると信ぜられてゐる、從つて近く他の機會にドイツ側の工作は何等かの形式において再び表面化するものと豫想されてゐる

「抵抗に飽きたり」

支那に漲つて來た風潮

【上海五日發同盟】蔣介石と駐支ドイツ大使トラウトマン氏との會談は五日朝來支那各紙に依り大々的に取扱はれ一般支那人の關心の的になる事を反映してゐるが、一方四日汪精衛が漢口に於いて爲した演説の如きも前線將士に對する後方國民の責務を強調すると共に國民が果して前線將士の期待に副ひ得るか否かの點を取り上げて國民の反省を促し、暗に停戰を仄かしたる事實あり、このところ南京を焦土と化すべしと云ふが如き徹底交戰論が表面的に横行する他面には抵抗に飽きたりと云ふ風潮が漸く著しからんとしつゝあり、南京陷落を前にドイツの調停乘出しを契機に抵抗繼續か和平妥協かの問題は支那首腦部の頭を悩まして居る

株式は暴騰

南京陷落が迫つて

【大阪六日發同盟】週明け六日來上騰の一途を辿つた株式市場は今朝立會早々、句容占領から南京陷落も時間の問題との事で買氣は一齊に現れ一方年末金融緩和を想定せる繊維工業株を中心に又復興的に擡頭傾斜を示し即ち主なるものを休日前引値に比較すれば（長期市場）鐘紡十九円九十錢方、新鐘十円四十錢方、帝人四円六十錢方、東洋紡三円七十錢方、東新一円五十錢方、大新二円方、日產一円六十錢方何れも亂騰を示した

南京防衛命令を傅作義が拒絶

北支將領に戰意なし

【天津五日發本社特電】第三十五軍長傅作義は太原陷落後綏軍將兵を率ゐて西安に退却し目下西安で軍隊を整備し態勢の挽回に努めてゐるが既に部下將兵の戰意喪失し再起不能と見らるゝに至つた、即ち蔣介石は皇軍の首都南京への進擊に大狼狽し地方將領に對し南京防衛に參加するよう通電を發し西安にある傅作義に對しても南京防衛を以て督促したが傅作義は左の如き回答を發し蔣の命令を拒絶するに至つた、即ち

山西の第三十五軍の失敗せるは余個人の失敗に非ず、當然全軍の責任である、余の軍隊は太原の防衛に於て甚大なる打擊を受け戰鬪能力は既に完全に喪失し目下の處に應ずる能はず

斯くて皇軍の句容占領に南京の死命は旦前の燈となり、又北支將領は大打擊を受け起つ能はず、支那全軍を通じて敗退滅亡の色濃きものがある

寧國に激烈な山岳戰展開

【寧國五日發同盟】寧國に向け一路進擊を續けてゐる皇軍は五日夕刻寧國に迫つたが寧國を固守する敵は天嶮に據つて頑強に抵抗し目下激烈なる山岳戰が展開されてゐる

南京中立地帶案受諾は困難

可能の範圍で安全尊重

【上海五日發同盟】南京に於ける中立地帶設置問題につき國際委員會は過般アメリカ大使館を通じて我方に提案し來つたが大體左の理由に依り該案の受諾は頗る困難なる模様である

一、南京自體が純然たる一つの要塞で中立地帶として提示されてゐる地域は何等自然の障害物なく境界も判然としない

一、委員會自體が同案を實行する實力を有せず支那兵の潜入を防ぐことが頗る困難と見らる

マドリッド總攻擊 愈よ近く開始せん

フランコ軍攻勢に出づ

【マドリッド四日發本社特電】マドリッド東北の要地グァダラハラ戰線はフランコ軍大軍を集中し相當長期に亘つて膠着状態を續けて居たが、フランコ軍は三日以來グァダラハラ北方に於て愈々攻勢に出で兩軍激戰が展開されたがフランコ軍の攻勢は實に本格的なるものと見らるゝに至つた、同軍は着々近くマドリッド總攻擊を開始するものと見らるゝ

滬杭甬鐵道嘉善迄開通

上海蘇州間は七日初運轉

【上海五日發同盟】佐藤部隊の苦心にかかる滬杭甬鐵道復舊工事は迅速に進捗しつつあり、早くも上海、嘉善間の開通を見るに至つたので五日その開通式が行はれ、爛初の軌道車が午前九時上海南停車場を發車し汽笛の音も勇しく嘉善に向つた、一方京滬線の復舊工事も着々進捗し來る七日上海、蘇州間の初運轉が行はれる筈

英國代理大使香港に着く

【香港五日發同盟】英國駐支代理大使ハウ氏は五日午前十一時三十分漢口より香港に到着した

森岡長官が首相を訪問

【東京六日發同盟】森岡台灣總務長官は六日午前九時四十五分首相官邸に近衛首相を訪問し台灣統治狀況に就いて報告した

班禪喇嘛の死去判明

【上海四日發本社特電】ニューデリーよりの報道によれば蒙藏委員會特別委員兼青海省政府委員班禪喇嘛が去る十一月二十日西康省玉樹附近に於て死去したこと判明したが班禪喇嘛は過般西藏へ歸還したとも言はれてゐた所、その間相變らず南京に留つてゐたことは明かにされ、更に最近上海より報道では彼が盛んにその全快の祈祷が行はれてゐたと傳へられ、各寺院では盛んにその全快の祈祷が行はれてゐたと傳へられてゐたが彼の死は國民政府の西藏及び西海地方對策にも大きな影響を與へるものである

滁縣、鞏縣を空襲

【上海五日發同盟】五日午前寒風を衝いて南京を爆擊した海軍航空隊は更に津浦線滁縣に飛び同地兵營を爆擊して大損害を與へた

【上海六日發同盟】艦隊報道部午前十一時發表、海軍航空隊は昨五日河南省鞏縣を空襲し兵工廠に大爆彈を投じ粉碎爆破せしめたり

その日その日

○南京の包圍陣愈成り、敵を急追、國府の名も蔣介石の身命も最後のドタン場に迫る

○"敵の首都攻略"といふ夢の様な大快挙、皇軍將兵の勇み猛り合ふ姿も、さこそ

○"日本軍の砲聲聞ゆ"で、早くも南京は大混亂、その狼狽振りも十分に想像がつく――

○面子のために抗日に出で、日本を激怒させて此の始末、結局"面子と心中"する様なもの

○蔣介石が、日本に兜を脱ぐ時は彼が[illegible]する時、彼はこの事を誰よりも最もよく知つてゐる――

○"抗日の大將"で盛り立てられて來た彼である、抗日と離れてはショウも無い

○ナント甘肅省の蘭州にまで音が空の王者は翼を狂げられた"四百餘州を股にかけ"ての飛翔振り、トテモ

○犬でさへ忠勤をぬきんでて感状を頂戴する世の中だ――とすると蔣いお方はドウなんです

人事

▲下村海軍少將　六日來北（日之丸館）
▲嶋森海軍少將　六日來北（日之丸館）
▲有澤海軍少佐　六日來北（日之丸館）
▲赤堀鐵吉氏（新竹州知事）　六日出府同日歸竹（新竹館泊）
▲多木龍二氏（日本炭酸社長）　五日來北（日之丸館）

★無絃琴★

到る處で賭けられてゐる"南京陷落の日"が目前に迫り、月末陷落説の人々に"失望的歡喜"を與へてゐるやうだ、賭けに負けるのは失望に違ひないが、早い程嬉しいのは國民としての至情である▲句容が落ちた以上、先づ二、三日の間には……といふのが常識的判斷であるが、然し玄人筋の間に於てさへ二十二、三日説があり軽々に判斷は付き兼ねる、何首都南京に日の丸國旗が翻へる時期に就ては、案外早いといふ説と割合に後れるといふ説との二つある、早いといふ説は、蔣介石が皇軍への抵抗を斷念して同地を早く撤退し南京城をあけ渡す場合、割合に後れるといふ説は、蔣が文字通り"最後の一戰"を試みる場合である▲この二つの場合の何れにより多くの實現性があるかは固より容易に見當は付かぬが、第三國の調停等が成功する見込みでも立てば案外に良く撤退するかも知れぬが、調停の成功する見込みは實際上望み薄であり、結局、破れかぶれの最後的決戰をやるものと見なくてはなるまい、南京には蔣直系の中央軍が集めてあるから一命を投げ出して蔣自ら指揮して決戰する事にでもならないとも限らない▲ただ明瞭な彼の身の事である、且つ中央の精鋭軍を集めた所でアレが直勝に留つてゐる皇軍の實力の前にドレだけの效果を期すかも疑問であるまで、先づ早くて十日前後、後れても十五日前後には南京城の一角が皇軍の手で占據されるものと觀て大過ないやうだ。

浮標のごとき女（157）

尾崎士郎作　梁川剛一畫

一年後（五）

「おい、氣もちがわるいぢやないか――もう少し離れてゐてくれよ」
「どうせさうでせうよ」
と、女がむつとしたやうに顔をゆがめた。
「お若さんの前だとあんなに眼下つてゐるくせに」
田村は、もうそんな言葉のやりとりには馴れてゐるらしく、權眼で女の顔を睨むやうにしてから
「起きろよ、武藏！」
と呼びかけた。褞袍を穿いたままの兩足をだらりと土間の上に伸ばして、仰向けに寐そべつてゐる武藏は高鼾をかいて眠つてゐる。
「だらしがないなア――」
彼は、手酌で酒をぐつとひつかけた。

もう十時をすぎてゐたが、色街はやうやく人が出さからうとする頃である。雨のためかさすがに人通りは疎かつたが、蛇の目傘をさしてとほる料理屋の女中のうしろ姿が酔ひ痴れた彼の心に生々しい情慾をかきたてるのであつた。
田村はぐつたりと台の上に片肘をつき、何時どこで覺えたとも知らぬ古い唱歌を低い調子でうたひだしたのである。
――わが歌声の高ければ、酒に狂ふと人やいふ、われに過ぎたる望をば、君ならでは誰が知る――
だんだん声が高くなつてきて、何か心にふかく沁みるものがあつた。そこへ
「あら」
と呼びかけながら、風呂の道具を抱へたお若がかへつてきた。丸ぽちやの――年齢は二十二だといふが、ちよつとみると十八九をおもはせるほど初々しいかんじの女である。
「めづらしいのねえ――こんなに早く、だから妙なお天氣になつてしまつたのよ」
お若は奥の棚の上へ風呂の道具をのせて、すぐ田村の横の空席に腰をおろした。
「どうしたのさ――そんなところにゐて、今夜は二階へあがらないの」
「何しろ相棒がそこでへたばつてしまつたんぢや、どうしやうもないぢやないか」
「だけど」
お若は肩をせりあげるやうにして田村の腕にもたれかかつた。
「あたし、どうしても聽いていただきたいことがあるのよ」
「おれにかい？」
お若は台の下から手をのばしてズボンの上から田村の腿の肉をつねつた。
「憎らしいのね、あんたは？」
「――だつて、お前の話を聽いたところで仕方がないぢやないか」
「いやんなつちまふわね――また考へこんで」
「考へちやいけないのかい？」
「誰もいけないなんて言つてやしないわ、あたし、ちやんとわかるのよ、あんたの考へてることが」
「千里眼だね、君は――ぢやあ、何を考へてゐると思ふ」
「去年わかれたあのひとのことにきまつてるぢやないの――あああほんとにくさくさしちまふわねえ」
「バカ！」
と、田村が甲高い声で呶鳴つた。
「誰があんな女のことなんか考へるもんか」
「嘘、嘘――あたし、あんたの知らないあひだにちやんとあのひとの寫眞を見てしまつたのよ」
「寫眞を？」
田村はどきつとして顔をあげた。

彈雨の中に挺身 天晴れ『寧海』捕獲
軍艦〇〇の三勇士

【〇〇艦上にて五日發同盟特派員】我が勇敢なる軍艦〇〇は四日江陰附近で我が空軍の爆撃で半ば沈没された支那軍艦寧海のマストの上高く軍艦旗を揚げたが、此時壯烈果敢な戰鬪をなした三名の勇士は左記の如くである、此三勇士は
海軍三等兵曹山下喜三郎（長崎縣出身）同一等水兵（福岡縣出身）中村竹一一等水兵（福岡市出身）
で四日午後十一時三十五分八路港方江上にて軍艦〇〇艦長自ら陸戰一門を押へた一艘の内火艇に約二十名の水兵と共に乘込み、濁流を突き切つて揚子江北岸より約五十米に迫る江上に浸水した寧海の舷側にぴたりと横付けるや機銃の火蓋を切つた、中村水兵は逸早く機銃に依り應戰せんとした瞬間敵彈は左脚に命中重傷を負ひこれを撲けんとして走り寄つた支那水兵の頭部を射ち拔かれ名譽の戰死を遂げた、此時山下水兵は彈雨の中を潜りぬけ早くも後部マストに攀ぢ上り檣上の支那軍艦旗に右手を掛けんとした

刹那 敵彈はマストを攀る左手に命中した、氣丈な山下水兵はくつかまり片手で持つてゐた軍艦旗を悠々と振り傾けた、敵兵は再び猛烈な砲火を切つたが我が〇〇は主砲を開いて敵陣を攻撃しこれを沈默せしめ遙か後方の江陰砲台からは陸軍部隊が一齊に撤退の火蓋を切り激しい十字火の雨となつた、敵兵の一人は何時の間にかマストに登り山下水兵に近づかんとしてゐる、同水兵はこれを見るやピストルを取出し悠然二發この敵兵を射殺した、我方は直ちに九名の決死隊を募り彈丸雨飛の甲板を走つて遂に

勇敢 なる山下一等水兵を救出し艇へ運び込んだが山下水兵は既に意識混濁「しつかりせよ」との艦長の言葉に漸く目を開いて、「助かりましたか、ピストルを見て下さい、まだ三發殘つてゐます助かるまいと思つたから自殺するつもりでした」と答へる、僅かり右手に握りしめるピストルにはまだ二發の彈丸が殘されてゐるではないか、これを見た一同は勇敢な山下一等水兵の見事な態度に思はず感激の涙を浮べた、此頃我が猛襲に敵は全く潰滅し寧海のマストには我軍艦旗が勝ち誇り江上には嵐のやうな万歳が響き渡つた

山東馬賊の巨頭を徒手空拳歸順せしむ
決死の宣撫官の偉功

【徳州五日發本社特電】皇軍の威力に懾き伏した北山東は所謂山東馬賊の本場で今回馬賊の敗殘兵を交へた土匪が蠢動して我軍の安民治安工作の邪魔をし宣撫工作も困難を極めてゐるが徳州駐在宣撫官村田卓氏（三〇）熊本縣出身は此の程手兵一千を擁する山東馬賊の巨頭白占梅を徒手空拳を以て歸順せしめ其の決死的工作の成果は第一線將兵の賞讚する所となつてゐる 白占梅は山東馬賊の大頭目で徳縣東部臨一帶四十餘村を勢力下に常備兵二百手兵一千を有して事あれば白馬に跨り千里の曠野を縱横に疾驅して"白來る"の聲は北部山東一帶の土匪馬賊を戰慄せしめてゐた、日本軍が徳州に入城以來住民に對する恩威に感じ早くも歸順の望みを抱いてゐたのを村田宣撫官が洩れ聞いて十一月以來單身彼の本拠地を訪れ再三會見終に四日〇〇守備隊長の許に直頭し部下三十名と並んで嚴肅に歸順を誓つた 彼は六十一歳短軀乍ら多年白刃を潜つて來た丸刈頭の堅鍊たる老頭目で蒙古人の風貌を備へてゐるが其の心臓には成吉思汗の血が流れてゐると自慢してゐる、白占梅は語る

從來南京政府の遣口は人民を幸福にする所以ではない、自らが大馬賊と等しく蔣介石も日本軍と戰爭したくないのは勿論だが彼の周圍には藍衣系の刺客や監視が附まとつてゐるので依然なく戰つてゐるのだ、今度蒙古国家出來て非常に嬉しい、日本軍の精神は實に宜いといふに盡きる、其の威力は兵器以上に精神的威力を以てゐる、今度の戰爭で日本軍の輝しい軍規、正義觀念は全山東の民衆に幸福を與へて呉れると信じたから日本の為に盡す

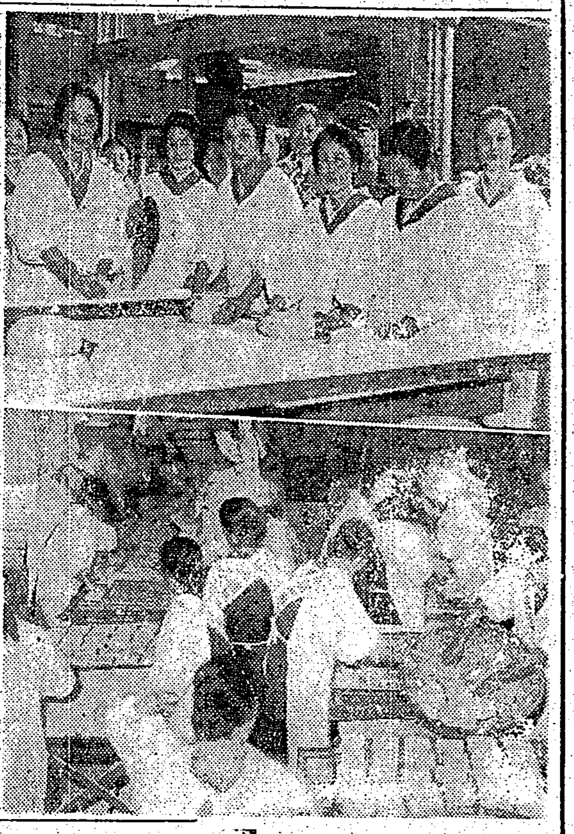
◇……我が砲撃陣の活躍（北支戰線にて）

六、七十年も先の税金を先取り
支那政府の苛斂誅求

【香港六日發】事變以來支那政府の税金取立て救國公債その他獻金の強募は隨分辛辣を極めて居るが永年の誅求に枯渇しきつた民衆から思ふやうに取れる筈がなく、殊に福建省一帶は既に四、五十年先（平陽民國六十七年）の税金を取立てて居り甚だしい地方は七十年先（民國九十年迄）の分迄先取りしてゐると云ふ暴狀で民衆は眞に塗炭の窮境に在る、然るに中央からの事變捐金の徴募督促は益々きびしくなり係員として成績が挙らなければその地位が危くなるので同省龍化、梅口方面の地方官吏は現金の代りに收穫したばかりの米穀を徴發して事態を糊塗してゐるやうな實情である

大山大尉遭難の地に嵐山の山櫻
五日嚴かな移植式

【上海五日發本社特電】全日本佛教團では大山大尉、齋藤一等兵曹の遭難地虹橋飛行場に武士のシムボル京都嵐山の山櫻五本を移植することとなり佛教新聞從軍記者岸田吾一氏が代表してこれを携行し來つたので五日午前遭難現場で上海東西兩本願寺僧侶讀經裡に嚴かな移植式を擧行した



長期抗日を豪語
上海人民戰線宣傳班 今度は香港で策動

【香港六日發】上海人民戰線宣傳班は日本軍の上海攻略後密かに香港方面に遁走し去る二日同地に於て第一回の會合を為し北支上海は既に失ひたりと雖も南支あり我等は南支に拠つて長期抗日を為すと豪語し目下盛んに策動してゐる

青山少佐自殺す
病氣で御奉公出來ぬを悲觀

【旭川六日發同盟】旭川第七師團將校官舍第二十七聯隊第三大隊長青山[illegible]少佐は五日午前七時頃自宅でピストルを以つて頭部を射拔き自殺を遂げた、少佐は本年二月頃から神經痛を病み治療中であつたが最近肋膜カリエスの診斷を受け出征の大命ある場合國家に御奉公出來ぬを悲觀し悲壯にも武人らしき見事な最期を遂げたものである

大行進の實況を國民の耳に
今夜AKから錄音放送

【東京六日發同盟】我國の新手丈る決意と無敵皇軍の威容を知らしめる為め去る二日正午を期し上海租界に展開された皇軍堂々の歴史的大行進の實況がJOAKのマイクを通じ六日午後九時十五分から十五分間に亘つて吾々の耳に響きわたる、これは目下上海に在るAKの友安中尉主任と島山技師とが當日英米租界バンドにマイクを据えて實況その儘を錄音したもので行進喇叭の音、軍馬の蹄き音高らかな軍靴の音などは餘す所なく收められ更に邦人居留民の歡声なども取入れられてゐると云ふ歴史的な現地ルポルタージュである

鑛業視察の一行

【新竹電話】本島重要鑛業視察の為め來台中の礦業会副會長松田竹太郎、九州帝國大學教授工學博士山口鉄一、同助教授山縣清、三菱工業株式會社顧問松木幹外數氏は六日午前十一時三十七分新竹驛着列車にて來新、州勸業課下茂鑛業主事の案内にて錦水油田を視察南下した

聖女マリア終焉の地發見

【太原五日發本社特電】支那の天使として全世界のカトリック教徒から聖女と仰がれてゐるマリア・アスンタパロツタ女史が清き廿六年の生涯を終つた終焉の地が去る三日山西派遣軍に従軍されたイタリー人宣教師及當局に出頭した皇軍によつて偶然發見され太原城北方二粁の地點にあるマリアの墓地が初めて[illegible]たが、カトリック教代表者は四日午後二時からこの聖女の墓地に額きつつ皇軍の義侠的溫情に深く感動した、マリアは一九〇四年山西省太原で戰時的に社會事業に從事してゐる中同年四月發疹チフスで逝去したが死後彼女の尊い犠牲的努力が世に現れ全世界のカトリック教徒から聖女として仰がれてゐたものである

軍艦〇〇
〇〇に入港

【〇〇電話】南支沿岸封鎖占領地帶警備の大任に從つてゐる軍艦〇〇は猛烈な寒化を衝いて五日正午〇〇に入港したが同艦搭乘第〇〇隊〇〇司令官は先般榮轉命令を受取つた許りとてその直後に入港したとあり、今回〇日入港〇〇丸で來任する後任〇〇司令官を迎へる為めやつて來たものである

譽れの軍犬入營

五日台北衛兵場で擧行された軍用犬臨時購買檢査に應召したものは約五十頭に達したが嚴重な性能訓練等の檢査に合格した渡辺氏所有のヘルト號を初め十頭は六日午前十時、本社前に所有者と共に集合記念撮影の後、帝大台灣支部の出征旗を先頭に勇ましく榮町通りを行進、軍司令部で祝賜をうけ建功神社に參拜して入營した（寫眞は本社前にて記念撮影）

ジャバ政廳も排日を嚴重取締る
南洋協會の小出氏語る

ジョホール丸入港

【基隆電話】南洋海運ジャバ航路よりジョホール丸は逆風に阻まれて豫定よりも遙に遲れ六日午前十時過ぎ基隆に入港したが同船では一ケ月餘ジャバに出張してゐた南洋協會幹事小出武夫氏が乘つてゐた小出幹事は語る

十月から商工省の補助を受けて今までシンガポール、バタビヤ、スラバヤの三ケ所に我が協會の商品陳列館を經營してやつてゐた商品陳列館を閉鎖することになつたので、その後始末の為め出張してゐたのである、商工省としては豫算の關係もあらうし又日本商品の地盤が出來た所には消極的な陳列所など開いておかなくてもよいとの意向もあるものと思はれるが折角やつてゐたものを閉鎖するのは惜しい、今後は我が協會としてはそれに代るべき何等かの機關を設ける必要ありシンガポールには我々の調査を行ふ人を置いてゐる、スラバヤも亦支部の機能を稍強化して仕事をしたいと思つてゐるがジャバの護謨は今迄より半値にガタ落ちしたが、それでも不況時代に較べるとまだまだよい方だ、併し世界の一般的不況の影響を蒙つて購買力減少し我が在留邦人の商賣は思つたほどよくない、低調な排日が行はれてゐた時分から考へるとまあ可もなし不可もなしと言つた狀態であらう、在留華僑商人は曾の滿洲事變當時日貨ボイコットをやつて却つて自分達の地盤がぐらつき非常な損をしてゐるので今度は自重して何等表面的な動きは見せず又ジャバ政廳も日本の神經を刺戟することを恐れて嚴重な取締を行つてゐるが、それでも支那本國から潛入する不良の徒多く彼等は潜行的に在留支那商人を煽動しつつあり表面的なボイコットが行はれんとする形勢を見せて在留邦人は心配してゐる、事變當初は向ふの各新聞は支那のデマ記事計りを掲げてゐたが近頃やつと實相が判り始めたやうだ

江南の戰場へ餅を贈る

聖戰既に半歳堂々の歩武は進み南京の陥落も目睫に迫つてゐる師走初めの今日江南の新戰場には今や新春は訪れんとしてゐるが、この新春を異境に迎へんとする我等の皇軍將士へ贈る正月餅の製造に台北市古亭町一六軒工場及幸町松浦アラレ工場では十二月一日から約十日間の豫定で全工場員を督勵晝夜兼行の大馬力を掛けてゐるが、台北國防婦人會の婦人連も連日この兩工場に出動して大和撫子の赤誠を"のし餅""鏡餅"にこきまぜて甲斐甲斐しく立働いてゐる、尚六日は古莊、重藤、古賀、吉田各夫人始め多數將校婦人までが"私達にも是非御手傳させて下さい"と申込み午前十時に松浦工場へ、同十一時半から一六軒工場へ夫々押しかけ職工達の間に交つて頭髪が粉まみれとなつて真白くなるのも構はず懸命な手傳ひを續け兩工場主及多數職工に多大の感動を與へた（寫眞は古莊、重藤兩夫人其の他婦人が一六軒工場で鏡餅をまるめてゐるところ（下）松浦工場でのし餅製作手傳中の國防婦人會員）

香奠返しとして將士へ慰問品

台北市川端町三七の仁禮徳熊氏は子息の歩兵上等兵仁禮重信君が佐藤部隊に屬し羅店鎮附近の激戰に於て壯烈な戰死を遂げ各方面から香奠を寄せられたのでその香奠返しとして百円を六日午前十一時愛婦台灣本部に持参、煙草（五十円）キヤラメル（五十円）に換へて佐藤部隊將士の慰問品として送つてほしいと申出でた、同本部では直ちに希望通りの品を戰地に送付の手續をとつた

佐々木警務部長が訓話

【基隆電話】佐々木台北州警務部長は警務部各課長以下を隨へ六日朝來基隆、午前十時から市役所三階會議室に當直員を除いた水陸兩警察署全職員を召集時局と國民精神總動員に關する一場の講演を行ひ又各課長も所管事務に關する訓話を行つた、引續き午後二時からは右に關する座談會を開催した

命知らずの海の勇者送還

當局同船では次の如き命知らずの海の勇者四人の送還者が乘つてゐた

一、シンガポールに籍を置く漁船大和丸は昨年十一月バタビヤに阿片密輸入を行ふべく小さな港に船を着、た所オランダ官憲に發見され船舶沒收船員は罰金二千ギルダー懲役一ケ年に處せられたものであるがその内沖縄縣人前村次郎（三三）千葉縣人石井善吉（三八）及び熊本縣人西本勝次（四三）の三名が刑期を終へて同地我が總領事館の手を經て神戸まで送還されて來た、彼等三名は基隆で上陸しようとしたが臨檢の水上署員に拒まれて丸一日船の中で鑵詰の餘儀なきに至つた

一、高雄市籍漁船大寶丸は昨年六月十七日僚船二隻と共に南洋佛領サニール島附近で飲料水運搬作業中に不良船調査のため活動中のフランス沿岸警戒の飛行機に發見誤認され到頭臨檢船の為めに四隻とも拿捕されてしまつた所がその飛行機が墜落したのを僚船が救助した為め一隻だけは釋放され三隻は佛領ニューカレドニアに曳船され途中フランス官憲を引つ括つて無人島に抛り上げる等の蠻勇を振ひ遂にニューカレドニアで各船長機關長及び水夫長は懲役に處せられ殘餘の船員も全部鑛山で勞役に服せしめられたがその内大寶丸の機關長鹿兒島縣人基隆市義重町四ノ八西銘順良（四六）だけは何かの都合で釋放されマカツサ經由同地日本人會の證明で同船で送還されて來た、船の中でも取調の水上署員に對しフランス人巡査を引つ括つた武勇傳を大威張りで語り一同の荒膽をひしいでゐた

神社に紛はしい行爲を嚴禁
不正頒布物を一掃

近來本島の敬神機運が愈々盛になりつつあるに乘じて種々の弊害も惹起らんとする傾向があるに鑑み此度警務、文教兩局長名を以て神符、守札類の頒布と正廳改善用器書類の頒布に關して左の要旨の通牒を發し不正なる頒布物を一掃する事となつた

神宮が神符、守札等を氏子區域内頒布するは差支へない所であるが、其他のもの、例へば教派神道等に於て之に類似のものを頒布して神宮に紛はしい行為をなすことは明治二十二年以來の禁令であるが、近來往々斯樣なものも見受けられ、事情に通じない、地方民に時局の勢を借りて押付ける等の事も聞及ぶ、是等は嚴重取締相成度、又最近本島民屋の正廳改善運動が盛になるにつれて、主として營利を目的とし内容不當にして教化上適當ならざる圖書掛軸類を頒布して地方に相當迷惑を及ぼしてゐるやにも聞及ぶに付此際、内容の不都合なるもの又は强請行爲の嫌あるもの等は嚴重取締相成度し

戰利品展示と實況報告會
大稻埕青年團が

台北市大稻埕青年團では支那事變戰利品展示並に戰線實況報告會を開くこととなり七、八、九の三日間は太平、永樂、大稻埕、日新、蓬萊の各公學校並に建成小學校に於て行ひ、八日は午後七時から十時まで太平公學校で一般に公開する由で右の外ニュース映畫をも映寫するさうである、尚講演者は約二ケ月に亘つて戰線を視察して來た斯界の新人報道家三毛男こと河野三郎君である

司法警察官吏の實務修習

司法警察官吏をして刑事事件の捜査を實習せしむると共に廣く檢察官及檢察事務官の司法警察官吏の職務並に犯罪捜査に關係ある事務の實況を見學修習せしむるを目的とする台北地方法院檢察局管内の第一回司法警察官吏實務修習は六日より十一日まで六日間に亘り檢察局で實施される、今回の出席者は憲兵隊より曲辺、倉岡、岩本の三伍長、各郡署より須崎（桃園）原田（南港）平（北港）山崎（淡水）吉田（三峽）和田（新莊）の八巡査部長、第一日の六日は午前九時より先づ古山檢察官長の訓示、下村檢察官より注意あり、檢察局事務に就き山口書記官より説明を受け次いで七、八、九の三日は各種事件の捜査に就いて取調べの實否を行ひ、公判の傍聽、更に確定記錄に由り捜査の適否、事件の處理に就き見學、檢察官の批判指導を受ける、十日は講演並に行刑施設の見學、十一日は懇談會を開き實習の結果を檢討することになつてゐる

土壤學肥料學談話會

台北帝大土壤學肥料學教室では、八日午後二時半から、大學理化學第二講義室に於て左の講演を催すが、學外一般市民の來聽をも歡迎すると

一、傷酸の青色比色定量法の研究　肥料檢査所　伊澤　[illegible]郎氏
一、滿洲における蔬菜の生產と需給　台北州農事試驗場　熊澤　三郎氏

生物學研究會例會

台北帝大生物學研究會では十日（金曜日）午後四時から帝大理農學部生物學第一講義室に於て左の通り第六十七回例會を催す由

歐米植物學研究所巡歴談（幻燈供覽）　正宗嚴敬氏

釋尊成道法會

十二月八日は釋尊正覺成就の日に當るので台北佛教各宗寺院聯合主催にて樺山町淨土宗別院に於て同日午後八時から釋尊成道法會を嚴修し法要後、東本願寺輪番古川德信師の講演がある由

高砂丸より

（來航）門司出帆後は季節風強く平穏なる航海を續けをれり、七日午前十一時基隆港外着の豫定

時基隆港外着の豫定 新任水戸馬公要港部司令官、賀田賀田組社長、牛田米穀事務所長、倉岡彦助、岩田三年生主、二見警務局長夫人の諸氏（六日著無電）

あすの天氣

臺北地方　東の疾風曇時々小雨
北部地方　北東の疾風曇小雨
東部地方　北の疾風曇後小雨
西部地方　北の疾風曇
南部地方　北の疾風晴時々曇

今晩の映画

◇國際館 1海底の巨人 2町一番のチヤツカリ娘 3テンプルのエクボ 4朝日ニュース・支那事變ニュース・世界ニュース
◇大世界館 1大森林 2バーナム 3ニュース
◇新世界館 1大地は微笑む 2天保水滸傳 3ニュース
◇タイゲキ 1大船國主 2土の低ひ
◇芳乃館 1明暗 2結婚への道

咳が烈しく出る 胸が痛む そんな時は ゴリヤウ
會葬御禮 竹下豊 竹下タネ
ぜん息神經痛や 高血壓 中風 血液の淨化で治る 不治でない 蝙蝠草で有名な今津理博士
血液淨化劑 今津化學研究所
臺山案内 內地土產 ポンカンと白柚 洋樂レコード 寫眞 カメラ中古品高價買入 金 電話商品券 洋服 オーバ、トンビ 藥種商 肋膜 喘息にワンカ 吸入用酸素
現像・燒付は二宮へ 和田はメガネ專門 時計眼鏡 メガネ專門金光堂 小川メガネ店 料理屋 宴會大勉強 生そば 辨金 寿司 京町店
ラヂオ器械 ラヂオ十ケ月月賦販賣 雜什 大陳列 村井 熊崎式姓名學 實用向家具 入營旗大勉強 バイオリン 尺八
ヨクキク 皮膚藥 タイピ
病への食物 牛乳 テルミー
山凱旋音頭 美ち奴 テイチクレコード

われらの國旗を正しく掲揚せよ
心すべきは喪旗と半掲の區別
輝く日章旗……（四）

◇…神武天皇の御弓と金色球

現在我が國に於ける國旗掲揚の風習は旗竿は、白黒の染め分けで中間に金色球を附ける例になつてゐる。それは、旗竿を神武天皇の御弓に見立て、金色球を同天皇の御弓に止まつた金鵄に象るものとされてゐるが、然れども強ち斯くの如き形式があるものではないのである。無地の竹竿でも木竿でも可、又金色球に限らなくても白色球でも三角形でも差支ないのであるが、國民の皇國精神を啟び奉る大信念の現れが現在の神武天皇の御弓と金鵄に象つた白黒染め分けの旗竿と金色球となり、全國的に普及してゐる事は、之亦我が國民性を顯示する喜ばしい事例の一つである

◇…正しい國旗掲揚法を閑却してゐる國民

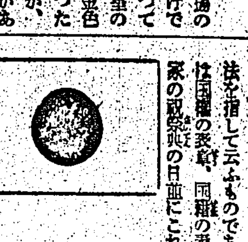
所が茲に一つ、この立派な日章旗と竿頭の旗竿と金色球とを持ち乍ら、肝腎の正しい國旗掲揚法を國民の大多數が閑却してゐる事は、遺憾である

一例をあげると祝祭日に立てる國旗は金色球の下部と、旗の上部との間に、一分なりとも間隙を生じていけないのに、今日一般に見受けた所では國旗と金色球との間に相當の間隙が出來てゐるのは、間違つた掲揚法であるとされてゐる

元來國旗の掲揚法には全掲、半掲、喪旗の三通りがあつて、外國皇室に對する敬意の表示、外國貴賓に對する敬意の表示の方法であり、夫々正しい掲揚法があるので其の大要を紹介しよう

◇…全掲の正しい掲揚法

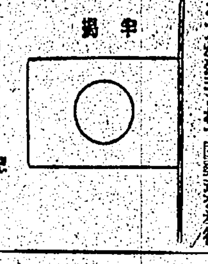
全掲とは國旗一本を成るべく高く良位に立て、金色球と旗とを密着せしめ、その間には一分の



間隙をも生ぜしめない樣な掲揚法を指して云ふものである。之は國祭日の表敬、國難の表明、國家の祝祭典の日並にこれに準ずべき慶祝に際し國民意志の表示のものである。この場合は出來るだけ家の左側に掲げるのが良いとされてゐる

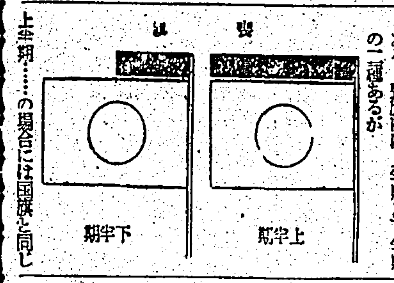
◇…良く間違へられる半掲法

半掲を別名半國旗とも稱してゐる、これは竿頭と旗の上縁との間にその旗の縦幅の二分の一位の間隔を取り掲揚するもので、又その旗竿が背戯の場合には、その旗竿の中間に掲ぐべきもので、この場合金色球を撤去するか又は黒布で包まなければならない、黒布のきれを垂らすのは不可、この半掲は國家に功勞ある方が薨去されて國葬式を舉行する時、又は非常な災害か、事變があつて多くの同胞が悲慘な最期を遂げ、その追悼會を行ふ時に國民としての弔意を表するのに使用されるものである。さしあたりこの度の支那事變で戰死された勇士達の告別式、慰靈祭、市葬、町、庄葬などの場合は、この半掲の國旗掲揚法に準ずべきである事は自明であらう



◇…所謂喪旗とは何か？

喪旗とは皇室に對し奉り弔意を表する場合に立てるもので、これはその都度宮内省より告示し國民に知らせる事になつてゐる 從つて宮内省より告示のない場合は、正式な喪旗ではない訳である。喪旗には上半期と下半期の二種あるが



上半期……の場合には國旗と同じ長さの約三寸位の黒布を旗の上縁につけ、金色球は撤去するか又は黒布で包まねばならない

下半期……の場合は黒布の長さを二分一にし、金色球は同じく撤去するか、又は黒布で包まねばならない

以上は法律によつて、かくあるべしと定められたものではない、國際的な慣習である、從つて自分は自分の解釋によつて勝手に行ふと云へばそれまでである。然しながら、それは國旗の神聖を冒瀆するものであり、また一流國民の態度でもない、日本國民は國旗の掲げ方一つ知らぬと、世界の友邦に笑はれるは日本人の恥ではないか

國民はこの際一層自重し、今後正しい掲揚法を實行したいものである、特に祝祭日に半旗に似た全掲をすることは、嚴重に戒めたいと思ふ

非常時婦人服コンクール（四）

ドレスメーカー女學院 杉野芳子氏案

通常はガウンのみを用ひ、非常の際は帶を取り、ペンツを穿き、ガウンの裾にはいつてゐる紐を胴で締めて丈を短かくし、上より別にベルトを結び、襟元も詰め三角巾を頭に結んで、活動に便利なものに變るガウンは袖附に變化を持つた感じの良いもので袖の太さを加減すれば、裝用にも向きます 四円五十錢位、寫眞（1）通常（2）非常時

次の流行靴？

最近經育の婦人流行靴に一つの暗示を與へた雨用靴が、米國を訪れた伊太利のカステルバルコ伯夫人の手で紹介されました、防共協定の伊太利では、ヴエネチアン・ノログスとして知られ、かかとが五吋もあります

新版 夫婦圓滿法
他山の石までに！

最近ユーゴースラヴイアの一作家は夫婦圓滿を望む婦人は、すべからく左の如く夫を操縦すべしと發表しました。他山の石までに

一、母の如き氣分を以て夫を子供の如く愛撫せよ

一、主婦として愛と優しさを以て夫の要求を滿たせ

一、同伴者として萬一の場合夫と生死を共にするだけの決意を示せ

一、友人としての夫の趣味を理解せよ

一、個人として自己の個性は飽くまでも失ふな

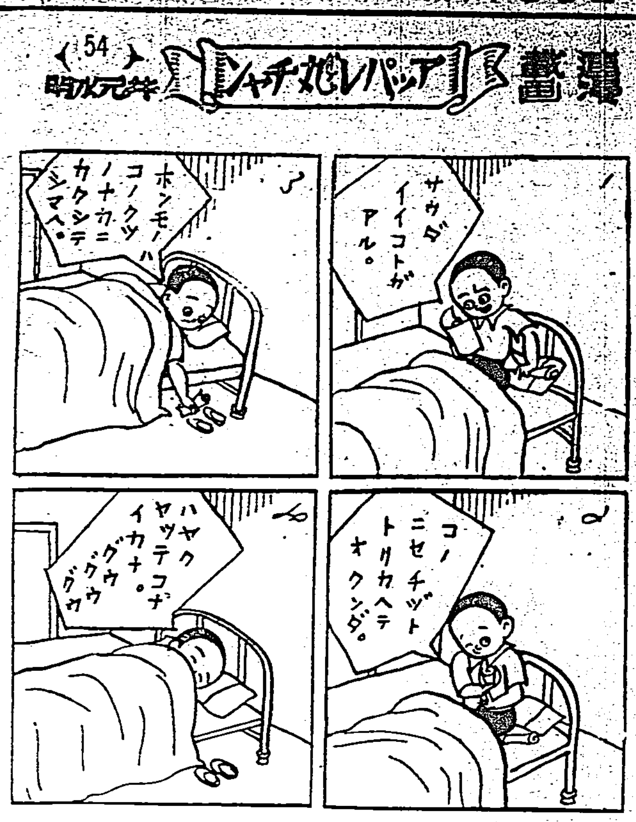
一、里に娶のべからず娶には、一寸ぺからずにはゆかないところを、いたく刺してゐます

一、嫉妬を顏に出すこと

一、茶飯事で夫を惱ますこと

一、夫に對し色々詮索すること

國はちがつても、人情に變りはありません、日本の奥樣方どうぞこれを三唱して下さい



藥味のいろく
◆家庭食卓小話◆

わさびは刺身と昔から定まつてゐるやうですが「板わさ」（板わさびの略稱）といつて、蒲鉾の角切りにわさびを添へる、これは酒の肴には上等です、但し鮪の刺身には煉り辛子の方が味がいいともいひます

●

唐辛子は味噌汁に、蕎麥汁に、鳥肉にはうつりがよく、粉山椒は燒肉一切、それに鰻の蒲燒 柳川鍋にはなくてはならぬもの

●

蓼の苔は鯉のお洗ひ、白魚のお椀にいいもの、晒葱はチリの汁に、蓼酢は甘酢をつくる時に使はれます、晒葱は、葱を細切りとし布巾に包んで水で晒したもので、よく水を切り、細く刻んだもの、湯豆腐などにも使はれます

●

大根おろしは鯛の刺し身の同伴者であり、紅葉おろしとなると、大根おろしに唐辛しの赤いつぶを混ぜたもので、チリなどには持つて來いのもの

●

[illegible]は冬のものではないが[illegible]の風慶の女房役元も季節はづれでも應用が出來ないものでもありますまい

●

レモン汁は鯛の生を食べる時殺菌劑としてこれまたなくてならぬものでせう

●

陳皮は蜜柑の皮をごく細かに刻んだもの、昔から健消しの妙藥とされてゐます、徳川時代に漢法醫の中に無学なものがゐて、藥箪笥の引出のカードに陳皮と書いておいたのでは讀めないのでチン（犬）の頭に火のついてゐる繪をつけてチン火と讀ませたなどといふ笑話つきのもの、この陳皮を唐辛子の刻んだのに混ぜ、これにいろくの藥味を配合したので七味唐辛子細いもの、荒いもの、辛いもの、辛くないもの、それに依つて、大辛、中辛、小辛などと分けられます、信州善光寺名物、淺草寺名物の七味唐辛は有名な品です、これを細い味噌汁に入れて食べるのも味のいいものです

汁物をうまく作るコツ
（本）（山）（荻）（舟）

温かい汁物はこれから寒さに向ふにつれて何よりも喜ばれるものですが、汁物をうまく食べるには塩梅の注意が第一であることを忘れてはいけません。たとへば豆腐のスマシ汁一つこしらへるにしても、この注意事項でどんなにでもうまくもまづくもなることを會得することが肝要なのです。

豆腐のスマシ汁に使ふ[illegible]豆腐でも何でもよく、又豆腐は豆腐屋で切らずにしておいてもらう[illegible]

[illegible]りません。若し卵を落すやうな場合には、豆腐と卵とを同時に入れます。それで卵の半熟になつた頃が豆腐としてもちやうど煮加減なのです。

青味には葱か三ッ葉の微塵に刻んだのを鍋には入れないで、椀に盛つてから加へることにすると、第一綺麗でもあり、風味が清新です。このコツさへ呑み込めたら、どんな汁物でもうまくいただけます。すべて汁加減は煮加減といつていいのです。

魚を使ふ場合白い肉のものなら大抵よろしい。白い身の魚の燒物、鯛中肝などは殊によろしい。

煮物や汁物のダシは、原則として魚類の場合には昆布、野菜、乾物等いはゆる精進物の場合には鰹節、煮干等生ぐさのダシが調和します。

ダシを引くには湯を煮立たせてから入れそしてもう一度煮立つたら、昆布なら引あげ鰹節ならダシ漉しにかけます。長く煮たからとて決して多くダシの出るものではありません。却つて長く煮ると煮詰つて、ダシの味を損ずるばかりです。

魚をタネにする場合には、味噌汁の時は生から用ひてよいのですが、清汁には食鹽を加へた熱湯で一旦湯掻きこぼさないと、脂が浮いて魚臭が強く、食味を損ずるものがあります。この場合には別に昆布ダシを引いて、食鹽と酒とで淡味をつけ、そこへ入れて煮した程度の時、醤油を加へることにします。

（主婦ノート）

★うどんを美味しく頂くには

寒い時、温かいうどんは何よりの好物ですが、美味しく頂くには魚鳥の小鍋立をした後で汁を薄めてたつぷりにして、その中へうどんの玉を入れ、ばらくにほごして熱くなつた程度のところを食べるのがよく、あまり煮過ぎるとどくなつて、うどんがふつきれますから、熱くなつた程度といふのが上加減です。別に汁をこしらへる場合には、食鹽と酒もしくはみりんと、小量の砂糖と味の素位で汁をたつぷりにつくり、醤油はくどくならぬやう、あまり煮つめないで煮立つたところへこの玉を入れます

大鍋スマシ汁の場合とおなじ加減で、ダシは鰹節でも煮干でも結構、葱を五分に切つて、汁に入れてもよく御鹽に鍛んで藥味にしてもよろしい、七色唐辛子、燒海苔等あり合せのもので調味します。油揚をほどよく鍛んで、汁の中へ入れるとグット味をよくいたします。

臺日歌壇
安成二郎選

臺北 陳氏欣欣

久々にきく鶏の聲さやかなり秋の朝の未だ小暗く

洗ひ髪風のまにくなびくなり黄昏を吾一人歩みぬ

澄み渡る今宵の月に思ふなり別れて遠き故郷の母

嘉義 熊本 芳江

君まさぬこの一日を日のあたる部屋に書を讀みてをり

夕餉炊く煙は淡く田舍家の灯ともしごろはかなしかりけり

君とゐてバナナの實るこの家の竹垣の庭に親しみにけり

臺北 竹下 寅藏

君が乘る銀バス小さく連山のふもとを靜かに走り行く見ゆ

いさかひのあとの心のわびしさに星を見つめてひとり悩めり

大空の星ながめつつ友と我戰場のこと飽かず語りし

出征の父を送りし幼子は祖父に手ひかれ歸り行きたり

臺北 廣中 シゲ

緣先に花をいけて待ちをりし月は漸やく上り來にけり

酒のみて軍歌うたひてさしのぼる今宵の月を見る嚴時かも

夕立の晴れて雲間に十六夜の月[illegible]とさえ澄るかも

寂しさの極みに立てば牧水の歌出河の歌を思ひぬ

とじこめし部屋一杯に白百合の高き香りのみちてゐたけり

小夜更けの庭にたたずみただ一人眺むる月はあまりに清し

臺北 赤島 裕子

青澄める月の下びに空を渡れる爆音高く出で行く飛行機

[illegible]

安住蚊煙香景品付當籤發表
日英米獨專賣特許 カトール大特賣
キンメ火持の一番よい 安住蚊煙香
猪印

壹梱券當籤番號（各組共通）

等	賞	本數	番號
壹等	參拾圓（商品券）（一本宛）	四拾本	190 670 777 831
貳等	拾圓（商品券）（一本宛）	壹百本	15 61 82 102 108 296 667 699 701 726
參等	貳圓（商品券）（一本宛）	壹千本	9 22 26 33 36 39 40 48 53 54 68 69 80 81 124 156 178 189 200 201 203 216 223 227 228 236 242 315 319 348 349 364 371 373 386 388 393 405 407 421 422 433 437 445 446 481 488 489 496 502 517 527 531 545 552 576 596 609 611 616 620 625 629 630 636 638 642 650 657 666 668 671 686 693 711 723 730 740 751 763 793 795 796 832 834 841 845 846 848 870 897 898 909 911 925 927 938 941 958 971
等外	參拾五錢（郵便切手）（一本宛）	殘り全部	

注意
一、引換期間 景品引換期限は發表の日より昭和十二年十二月末日迄以後無効
一、引換場所 各仕入先（各代理店）に持參の事
一、商品代金 景品引換券は商品代金引換券のものに限る
以上

拾梱券當籤番號（各組共通）

等	賞	本數	番號
壹等	五拾圓（商品券）（一本宛）	貳拾本	14 48
貳等	貳拾圓（商品券）（一本宛）	四拾本	5 63 65 98
參等	五圓（商品券）（一本宛）	壹百本	20 29 53 70 75 79 84 87 91 95
等外	壹圓（商品券）（一本宛）	殘り全部	

特別販賣店懸御優待（壹梱券等外再抽選三百名樣へ）（各組共通）

等	賞	本數	番號
福當り	五圓（商品券）（一本宛）	參百本	37 66 84 153 162 191 244 246 254 275 298 352 361 415 438 455 461 472 543 578 622 639 647 757 764 867 879 886 944 981

主催 臺灣全島安住會
後援 株式會社安住大藥房 大阪市西淀川區大仁西一丁目四三

日英米獨專賣特許 カトール（蚊取の原料・除虫菊の紙巻）

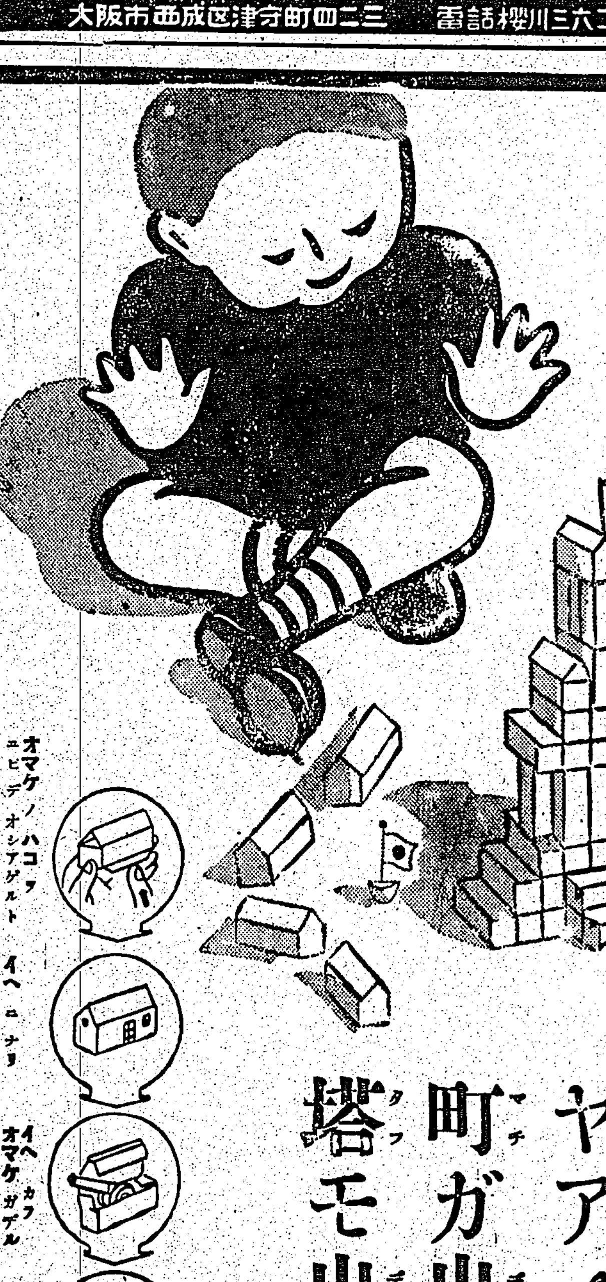
送風機排風機及各種耐酸用排風機
設計製作專門
株式會社 大阪送風機製作所
大阪市西成區津守町四二三 電話櫻川三六二五・三七〇一番

星名刺
星…と御指命 印刷所へ

今が潮時 大流行の自宅温泉
ハガキ申込次第見本説明書進呈
セチ辛い世の中だが手段と方法で小資本でも案外金儲の道あり
特典付
別府市本町

タン・セキに呼吸器散 服めば

夜行列車の疲れ、朝ノーシンのんで頭の調子を恢復する


榮養菓子
グリコの家
オマケノハコガイヘニナリマス
ヤア！
町ガ出來タ
塔モ出來タ
グリコ株式會社（大阪・東京）

我が砲撃陣の活躍（北支戰線にて）

國定忠次 (124)

長谷川伸作 岩田專太郎畫

浮世の蟲（四）

今市は片眼を伏せた、魚の鰓を揃めた眼は閉ッ放しだ。

「忠次さん、俺は死んだものと思つてくれ。言ひ訳をいふのではない、諦めをつけて貰ひたいと思ふのでいふのだ」

「諦めろといはれねえでも諦めます。忠次は浮世の蟲で、あんまり褒められた世渡りぢやありませんが、かうなつてみるとお前さんより俺の方が上の人間でしたつけ」

「ほう」

驚いて顔をみる今市に、忠次がアと、云はれて腹が立ちますか、ええ」

「いや、変るものか。驚いたのだ。忠次さん、いふ事がお前さん前と変つてきた。それで良いのだ。俺が眼のはいつてる頃の今市だが、矢つぱり斯る眼に狂ひがなくつて嬉しい。安心した。すつかり安心がついた。忠次さんお前さんよくそんなに変つてくれた」

「眼に狂ひはしませんが」

「いや変つた。世間の眼から出來てきた男振は、変つた自分に気が付かずにゐるのが何よりの證據だ。たつた嬉しい、こんな嬉しいことはない。さあ、もう良い、俺が手を出した仕事の目鼻がもうちやんと付いた。お前さん方四人は國定村へ早く帰つて喜んでください」

「いえ、用が済むまでお別れ申しません」

「用が済むとは何ですか。忠次さん私は天狗小僧といふ大盗ッ人ですよ。五體を隠して何とかお前さんにいつてゐる間は、私の方が一枚も二枚も上の男らしかつたが、五體が判つてしまへば人間以下の男だ。お前さんはお前さんで往く道を行つてくれ。私は私で先を急ぎませう」

ぐつたり頭を下げる今市の、首筋を見詰めて忠次が、

「忠次は曲りなりにも往く道のめどが付いてゐます。が、お前さんは往く道がありますか――ねえでせう。ねえ筈だ」

「それを云つてくれるな。云はれないでも判つてゐる」

「判つてゐるなら何で往く道を探してくださらねえ。俺よりはずつと優しいに生れついてゐながら――自分で自分を粗末に扱ひ過ぎるんだ」

「往く道が私にありますか。天狗小僧の頭領の行く道があるか知らん」

「あります」

「いや無い。私は大泥棒ですよ。大泥棒といふ見えねえ烙印が捺されてゐる私が、何をすることがあるものか。大泥棒の他に、私のする何があるものか」

「と、今市さん、お前さんは俺にも大泥棒になれといふのですか」

「だれがそんな事をいふものですか、忠次さん、妙に理屈を捏ねるのまで旨くなりなすつたね」

「では一ッ伺ひますが、今日まで忠次がお前さんのご厄介になつたことは口ではいへねえ、忠次ばかりか一家の者までお世話になつて參りましたが、大泥棒の天狗小僧の手引き、後押し、智恵を借りて國定村の忠次は男になつたで済みませうかしら？」

「いやいや、それは世間の知らない事です。今市といふ人間が消えてしまへば済むことです」

「そいつは盗ッ人理窟です」

「何だとね」

「さうぢやありませんか、世間が知らなけりや良いは胡麻化しでせう、臭え物に蓋です。國定を出る時から忠次は肚を極めてきました。世話になつた今市さんに俺が負けるか、それとも、俺が勝つて今市さんを負かすか、どつちか一ッと極めてかかつて居ます」

「それは、どういふお話です？」

「忠次が負けるといふのは、大泥棒の兄弟分にこの忠次がズリ下ることです」

「え？」

「お前さん程の人でも、體に臭いものが付いてゐると、臭いのが判らねえと見えます。忠次はね、お前さんといふ大泥棒に叩かれ励まされ、危ねえ処も助けて貰つた、智恵も才覚も貸して貰つた。一家の者のくらしまで立てさせて貰ひました。知られえとはいひ條、臭えが、忠次にはもう移つてゐます」

「ふうン、鋭い鼻だ。ふうん。だが、忠次さん。私が負けるといふ話は何ですね？」

「申しませう。今市さん、お前さんの命を忠次にくれて下さい」

カナ文字ニュース

△溧水ヲ センリヤウ シタ ワガ軍ハ五日アサカラ 南京ニ ムカツテ ススミ ソノ先鋒ハ 島山鎮ヲ センリヤウ シマシタ 南京マデ アト四十キロト ナリマシタ

△十一月二十日カラ 十二月五日マデニ 海軍航空隊ハ 北支ノ 奥地ヲ クウシフ シテ 敵ノ 飛行機 五十餘機ヲ ウチオトシ ソノホカ カクナフコヤ 兵舎ヲ十四棟モ バクハ シマシタ。マタ 四日ハ 蘭州ニ トンデ行ツテ 十餘機ヲ メチャメチャニ バクゲキ シマシタ

人工品に押されてすたれた寒紅
◇…雅致に富む本體

近頃は何事に依らず、人工品と天然品との一騎討時代だ、モダン・ガール用ひるところの紅脂のあれは勿論人工紅であるが、桃割、島田組になると、天然紅の――しかも、寒紅、おまけに、寒中の丑の日の紅を買つておかないと、一大事とある。何時の紅でもよささうなものの、寒中の紅、即ち寒紅でなければいけないとは、そもそも如何なる因縁があるのであらうか――

◇ ◇

寒中はすべてのものが冷却するこの時に揃へたものは長持ちがして質が変らないといふのは、豈獨り寒の水餅のみならんやである、紅も氣温下るこの時に、しかも、天然紅の製造は光りを厭ふがために、深夜、理想からいへば、満天落闇によく出て來る草木も眠る丑三つ時、垂木も三寸下るといふ、ヒユードロドロの闇の仕事がいいといふ語り傳へがある。丑の日の紅がいいなんその傳説も、恐らくはくらやみの牛の語の変化か、その詮索は古證学者に任せるとして、近來寒紅の效能について、各方面の理化学研究所が研究に乗り出して來たのも頗る目につく傾向である

◇ ◇

何から作るのかといふと、紅花と名づける植物が主原料である。紅花を水に浸しておくと、黄色の水が浸み出して來る、そこで、この黄色の水は不純物だから捨ててしまつて、その後へモミヌカをかぎ、灰汁の溶液をかけると、紅がここにまた加工の手が要る、紅の色をいよく鮮かにするために媒染剤といふ代物が用ひられる、材料としては梅酢が適當だ、これを加へ、麻で編んだ笊布風のものでこす、さうすると、麻がすつかり紅を吸ひ取つてしまふ

◇ ◇

これほど手数がかかるから、自然値段も高くなるわけだが、今述べた代物を一晩おいて、翌日また同じことを繰返すと、すつかり紅は麻に浸み込んでしまふ、今度はその紅吸收の麻をかけ干しにしておいて、蒸籠に入れて蒸すのであるが、蒸籠の下に、羽二重が布いてある、蒸されてゐる間に紅は浸み出して羽二重の上に落ちる、これを集めて、刷毛で瀬戸物の茶碗もしくは盃のものに刷いたのが昔風の口紅である、一匁いくらといつて賣るのが普通で、上物になると一匁一円五十錢を越すものもあるといふ

◇ ◇

昔は寒に入ると、寒紅といつて紅を賣り歩くものがあつた、だが、今でも傳統的な街々には見られるが、いはゆる會社製品の人工紅に押されて、昔の全盛は見られない。寒紅賣りが街角に來ると、島田の娘は飛び出して盃を出して紅を刷いてもらふ、それが、寒の丑の日のものならば、効能一層顕著で之を用ひれば一年中唇の荒れを知らぬといふのだが、それまではどうか、とにかく、頗る雅致に富んだ口紅であることはいふまでもない

◇ ◇

紅といへば、すぐ化粧のことを聯想するがさうとばかりは限らない、天然紅は精氣を増し、成長力を旺盛ならしめ、若返り薬であるといふいひ傳へがある、赤ン坊や幼児の足裏に赤染を用ひるのも、元氣づけ成長を助ける意味である、近頃は人工染料に依つて十把一束に染め上げるから、どんなものか、更に御婦人の中には、肌着に紅を用ひ、これを襟元からちよつとのぞかせたのを見受けるが、なかなか艶なものである、これも本來は天然紅を用ひるのが正式で若い娘は青春の精氣を増し、年増は年をとらず若返る――といふのだ、その効能はさておいて、その氣持だけでも若返ること請合である

◇ ◇

近頃では、紅といふと、口紅、頬紅など歐米風を加味して來たが、その用法にも変化を來して來た、徳川時代の美人畫などを見ると、目尻に紅をさしたのを見る、これなどはなかなか色つぽい、また近頃問題にされなくなつたのは、若い女の素足であるが、昔の美人畫で見るとすばらしい美女の足――その爪は櫻色を帯びて、隠微の鳥の爪を薬へたやう――これなども爪に紅をさすのである、手の爪に紅をさすことは、今も昔も廢ていない

友邦・暹羅の人形玩具展より

昨年開館された折居常宮博士の日本唯一の西洋人形玩具博物館では今年は友邦シャム国修好五十周年記念の為に先年同氏が渡暹の際蒐集した同国の人形玩具類二百餘点をこの程増築した新館に陳列、十一月二十六日、二十七日の兩日朝に一般に公開した、我が国とシャム国との友好は遠く山田長政に始まり、東洋の親善国として修好を結んで五十年になる、国状、風俗等我が国と共通した点が多く、ことに人形玩具を通して見る時は却々興味深いものがある【寫眞は現代シャム土産風俗人形ですが古代人形と比較して今日のシャム人形を見ると非常に面白いではありませんか】

高凌霨 北支戰線を描く
……高凌霨氏を訪ふ……

繪及び文 日本美術院同人 眞道黎明

皇軍に平定された地方は各地に治安維持會が設立され南京政府の絆を離れて自治が行はれてゐる最初に出來たのが天津治維會で嘗ての總理大臣であつた高凌霨氏が六十八歳の老軀を提げ委員長の椅子に就てゐる、温容長者の風格ある老紳士で日本と同じく手を握つて進みたいと言つて握手されたがふよくした大きな手で暖かかつた

署名は高氏の自署である

渡り鳥の思ひ出
長谷川巳水

その日その日の忙しさに追はれて、旅はおろか、めつたに郊外へも出かけられない私であるが、鳥屋に野鳥が下り、やき鳥屋の店に煙を撒く香ひが漂ふ頃ともなれば晩秋初冬の山河の姿を想ひ、空行く旅人、渡り鳥の鳴き声を心の糧に聞くのである。

△

私の生れ故郷の越後の平原では稲のとりいれが終ると間もなく、遠い山には雪が來る。雨の音が荒々しくなりまさつて、やがて霙が交り、霰も冴々に庭の桜を打つてわびしい音をたて始める。晴れた日には空高く、曇つた夕には低く渡鳥が行くのもその頃である。何処から來たか、何処へ行くか、ただ宛も果しもなく飛んで行くやうな渡鳥の群は、子供心にも何となく寂しさを感じさせたものだ。

△

アホジの群がやつて來ると、私達は父や叔父の伴をしてかすみ網をかついで出かけたものだ。朝暗いうちに行つて、野原の中の小さな籔を包むやうに網を張るのである。その籔で旅の一夜を明した小鳥達を、夜明けの朝まだ籔に捕へるのだ。うす明りを頼りに、まるで籔の裏を落ち武者のやうに、息を殺らして網を張ると、一方から籔を追ふのである。驚いたアホジの群は網のことも忘れて、あはれにも網の目に首を取られて絡ふ。網の目に目出に取られて絡ふ事がある。子供は大喜びで声を上げるが大人達は鳥を少しも歓迎しないのである。それは鳥が大事な網をめちやめちやにするだけで、あまり良い獲物ではないからである。

△

取つたアホジは焼いて食ふ。多くの獲物のあつた時は漬けて置く。この鳥の脂肪は魚の少い北の国の冬の、此上ない珍味である。むしり取めて置く羽毛は、町から買ひ手が来て持つて行く。羽毛は都會へ送られて、美しい帽子の飾りになるのだと聞かされてゐた。

△

ツグミもやつて來る。然しこれはアホジのやうに手軽にはとれない。山へ分け入つてツグミの通ひ路を見付けて網を張らなければならない。米や味噌をかついで、山で夜を明さなければならない。山の木の実で肥つたツグミの群が、早立ちに、山の鳥罠をかすめて飛ぶのを待つのである。

大方の野の鳥は下りる時には高くから目的の所へ落ちるやうに舞ひ下るが、立つ時には地上すれすれに行くのが常であるので、山のかすみ網猟や、沼の鴨を狙ふ網で捕へる猟などが考へられたものに違ひない。金澤は昔からツグミ猟の發達した所で、其処では媒鳥によい声で囀らせて空行く群を誘ひ寄せ、かすみにかけて捕へるのである。

△

猟場でとれ立てのツグミを料つて谷川の水で洗つて焼いて食ふ程の美味は、都會では決して味はふことの出來ないものである。

△

ツグミは焼いても漬けても、シギ、ウヅラと共に、野鳥美味の三光である。はらわたの鹽辛もうまい。脂肪のとろりと斯れたツグミの鹽辛は、鹽辛の隨一である。足尾や川治の方から、この鹽辛の來る日が待たれてならない。

映畫ニュース

★島耕二愈々監督へ轉向

日活多摩川の島耕二は愈々十五年間の俳優生活と袂別して監督へ轉向する事になつた、彼は長崎縣出身、俳優学校卒業後大正十四年日活へ入社し「火柱」にデビュウ、昭和七年日活より新映畫社に移り同八年松竹「笑ひの王国」に参加その後PCL、新興を轉々として同十年日活へ復社現在に至つた、監督轉向は今春來の念願であつたが今度根岸所長の好意ある諒解によつて実現されることになつたもので彼は物質的犠牲を犠牲にし監督助手から出發、監督術のいろはから勉強すると言ふ眞摯さである

★「淺草の灯」素晴しい出來

松竹大船、島津監督作品「淺草の灯」は試寫の結果素晴しい出來なので封切に先立ち映畫人並に文藝家評論家を招待、試寫會を催すことになつた

★「どん底」果然好評

東和商事提供ジャン・ルノアール監督作品ジャン・ギャバン、ルイ・ジューヴェ、ジュニー・アストル主演の「どん底」は期待裡に封切られたが帝劇、大勝館、武藏野館等と共に成績優秀でSYに於ける藝術映畫としては「にんじん」「未完成交響樂」以來の好況を示してゐる

★夢聲の「雷親爺」完成

東寶東京矢倉茂雄監督徳川夢聲主演「雷親爺」はこの程全クランクを終了した、尚この映畫には鳳の百太郎が映畫スターとして初出演してゐる

★不正上映の絶對防止を協議

映畫の興行契約がルーズな為め數多い常設館を經營してゐる興行者のうちには配給會社との間に契約のない經營館に勝手に映畫の掛持上映を行ひ、不當の利益を享受してゐるものがあるがこれに對し配給業者の間には完全な防止策が樹立されてゐなかつたが去る一日に公布された警視廳の新興行取締規則中には映畫興行の許可に際し内務省の檢閲認可台本若しくは警視廳がこれと同一であると認め特に副本として認可したものを添へなければ絶對に許可しない事が明記され來月十二日からいよいよ実施される事になつたので配給者はこれに力を得、新規則実施と同時にこれ等不正上映を絶滅し映畫の興行を明朗化する事となり目下具體案を協議中であるが一兩日中にはこの方針が決定する筈である、これが決定すると契約をしてゐない館に對し配給業者に無断で掛持をするやうな不正行為は絶對に行はれない事になるであらう

★國産映畫歐米丗餘ケ國に氾濫

輸出映畫何んかといふ事は凡そ日本の映畫界には縁の遠い話であるが、それでも事変以來ニュースの輸出も多くなつた故か一昨年までは満洲、支那、比律賓、シャム、アメリカ、カナダ、獨逸、ソ聯、ブラジル、英領印度などに過ぎなかつたが最近では ビルマ、新嘉坡、蘭領印度、新西蘭、濠洲、土耳古、佛蘭西、瑞太利、伊太利、丁抹、瑞西、和蘭、スペイン、ポーランド、白耳義、英吉利、メキシコ、キューバ、ボリヴイア、アルゼンチン、ペルー、南阿聯邦 なども輸出のお得意先になつて合計三十餘ケ国の多きに達した、しかしニュースの一本や宣傳映畫一本位が輸出されてゐる程度のところもあり數量から見ると十一年の總計が三千七十九巻に過ぎず、興行映畫では松竹の六十卷（支那、アメリカ、ヒリッピン、ブラジル、カナダ、ペルー、スイス、ソ聯）日活の七十卷（支那、アメリカ、佛蘭西、ヒリッピン、ブラジル、カナダ、ペルー）が最も多く分布状態は官廳の二十五ケ国（百六十二卷）新聞社の十二ケ国（三百二卷）が多い方で、銀幕外交とか國際文化とかいふ方面からは前途遼遠である

メガホン塔

▲内地から移した大事な松を切らせ而も金を取るとは（円松は榕樹生）▲陸軍工科学校受験準備書不用になりましたから熱心な希望者に呈上致します（馬場町一一五大野）▲銀紙を国防献金にしたいのですが何處で買つてくれますか（お尋ね生）▲問屋が買ふと思ひますから一度尋ねてごらんなさい（記者）▲自分の内證稼ぎを少々にして御客へのサービスを平民的に願ひます（島の實親）▲社前亭仔脚にて女子供下駄を拾得しあり心當りの方は御出で下さい（社内庶務課）

潮汐（七日）

	滿潮	干潮
基隆	前一・一〇 後一・二五	前五・五五 後七・三五
淡水	前[illegible] 後[illegible]	前[illegible] 後[illegible]

有段者十人拔碁戰（第二次戰十局の三）

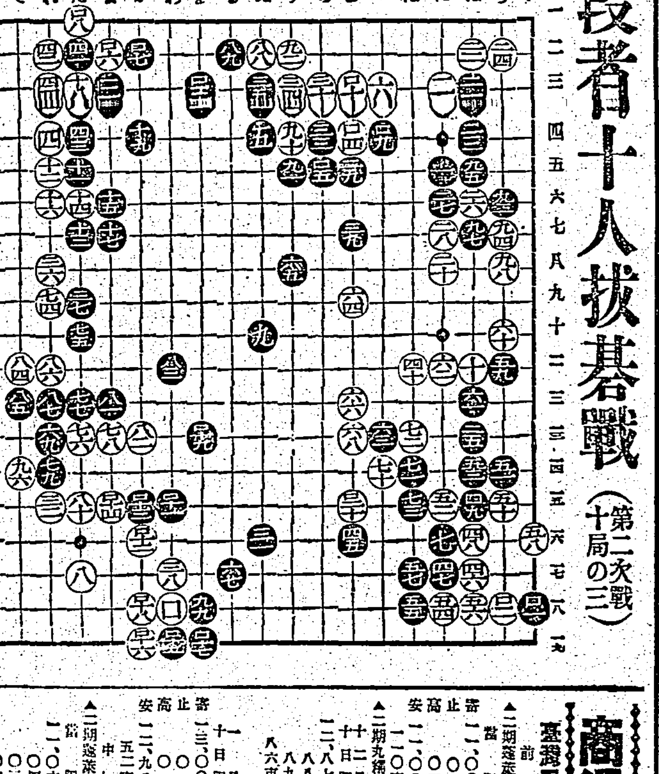
本社主催

前田氏二勝 同三局目

先番 初段 前田眞浄（四目半コミ出シ）

互先 初段 藤渡茂

審判四段 橋本国三郎



●八一よ一二 ○八二か一三 ●八三わ一一 ○八四そ一一 ●八五そ一二 ○八六れ一一 ●八七れ一二 ○八八ぬ二 ●八九る二 ○九〇り四 ●九一り五 ○九二り二 ●九三ろ六 ○九四ろ七 ●九五は四 ○九六そ一四 ●九七は七 ○九八ろ八 ●九九を一八 ○□〇〇わ一八 ●□〇一い一八 ○□〇二ろ一八 ●□〇三ぬ三 ○□〇四と四 ●□〇五ち五 ○□〇六よ二 ●□〇七か二 ○□〇八た一 ●□〇九へ四 ○□一〇と三 ●□一一わ一五 ○□一二か一六 ●□一三か一五 ○□一四よ一五 ●□一五わ一九 ○□一六か一九 ●□一七を一九 ○□一八か一八 ●□一九を一三 ○□二〇と一五

評 稲澤克忠

黒八三は「れノ一〇」と押へるべきである白に八四、八六を利かされてはたまりません

商況（六日）

臺灣正米市場前場

▲二期蓬萊米

	當限	中限	先限
寄	二、〇〇〇	二、〇〇八	一月二十日限新甫
止	二、〇〇二		
高	二、〇〇二		
安	二、〇〇〇		
	一〇車	三車	不申

▲二期丸糯米

	十二月十一日限	十二月十五日限	十二月二十日限
寄	二、八七	二、九〇	二、九〇
止	八八	九一	
高	八九	九一	
安	八八	八九	
	八六車	一六車	四車

▲二期蓬萊米

	十一月十日限	一月二十日限新甫	
寄	二、〇〇〇	二、一七	
止	〇一		
高	〇一		
安	二、九八		
	五二車	一〇車	

▲二期蓬萊米

	當限	中限	先限
寄	二、〇〇六	二、〇〇六	二、一一四
止	〇〇四	〇〇五	
高	〇〇五	〇〇六	
安	〇〇四		
	九九車	一七車	一〇車

▲二期丸糯米

	十二月十一日限	十二月十五日限	十二月二十日限
寄	二、九一	二、九八	
止	〇〇	三、〇一	
高	〇一		
安	二、九一	二、九八	二、九五
	一五三車	一二三車	一車

十一日限月 一三、〇三 ／ 十一日限 一三、一四 ／ 〇〇二 〇〇四 〇三 四九車 一九車

基隆在庫米（六日朝現在）

一期蓬萊米 五〇二袋 ／ 二期蓬萊米 一八九、八三九 ／ 一期丸糯米 四八二 ／ 二期丸糯米 八九、五〇六 ／ 到着米二日分 三七五東（四、六九〇賦）

大阪期米前場

節	當	中	先
一	三四、三五	三三、〇一	三三、七九
二	六四	九〇	九〇
三	五〇	九二	九四
四	五一	八九	八八
五	五七	九八	九五
六	五七	九九	九七
七	五七	九七	九七
八	五九	九八	九八
九	六〇	四、一二	四、〇一
十	六三	〇三	一〇

東京期米前場

	當	中	先
寄	三四、〇六	三三、七六	三三、七一
引	四九	四、〇六	四、〇五
高	四九	〇六	〇五
安	〇六	三、七六	三、七一

神戸期米前場

	當	中	先
寄	三三、二七	三三、二七五	三三、二六〇
引	五	三三、二〇	三三、〇五
高	大五	三〇	〇五
安	二七	二、七五	二、六〇

東京銘柄

	當	中	先
蓬萊米 寄	一二、〇六	一二、〇五	一二、一九九
止	一三、七七	一三、八三	一三、一五
丸糯米 止	一三、九二	一三、〇五	一三、一五

東京銀行實株

[illegible]

東京國債前場

[illegible]

東京短期前場

[illegible]

大阪短期前場

[illegible]

臺北雜穀糖粉

[illegible]

大連特産前場

[illegible]

神戸對外爲替前場

[illegible]

大連特産在荷高

大豆 七三五車 一、三一〇車 在荷 ／ 豆粕 一二三車 九六万二千枚

大連特産出來高

大豆 二〇〇車 一二〇〇車 現物 ／ 豆粕 一二万五千枚 一万五千枚

横濱生絲前場

	寄	引
十二月限	七二三、〇〇	七一六、〇〇
五月限	七〇九、〇〇	七〇六、〇〇

大阪人絹前場

	寄	引
十二月限	六七、〇〇	六七、三〇
四月限	七一、五〇	七一、二〇

大阪綿花前場

	寄	引
十二月限	二二三、七〇	二二三、七〇
六月限	二二二、三〇	二二二、一〇

大阪綿絲前場

	寄	引
十二月限	二三三、〇〇	二三三、一〇
五月限	五三、〇五	五三、〇五
六月限	六四、四〇	六四、〇〇

大阪砂糖現物

三温（ＯＢＢ）二〇圓一〇錢 ／ 分蜜（Ｍ３）一九圓九〇錢 ／ 精糖（盤）二二圓四〇錢 ／ 同（袋）二二圓六〇錢 ／ 同（日）二二圓六〇錢 ／ 耕地白（Ａ双）二二圓六〇錢

大阪砂糖清算前場

限	一節	二節	三節
十二	一三、一八	一三、一九	一三、一六
一	五五	五四	五二
三	二、三三	二、三三	二、三一
四	四四	四四	四二
五	五八	五六	五二

大阪長期前場

[illegible]

―特撰銘酒―
澤之鶴
石橋株式會社

天下一品
マルカン
マルカン酢
爽快無比！
マルカンのゆくところ美味忽ち至る！
宮内省御用達
名古屋 笹田本店
臺北 笹田商店

パピリオクレーム
クリームの一番大事な原料は油です。
油には、植物のと動物のとあつて、ヒフには植物性でないといけない。
植物性の中ではオリーブが世界最高です。
それで作ることに成功したのです。
これ迄のバニシングの半分量で使つて下さい。のびるから。
A一般用（男女併用）B荒れ性用 各80錢
Cファンデーション化粧下 80錢・伊東化學研究所
見本四錢切手・デパート・有名店にあり・東京深川本村町

りん病
ばい毒
有田製藥
良い薬らかく効かく売られる
有田ドラッグ

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
編輯兼發行人 佐々木登
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社

社説
再燃せる產組貯金への課税 助長政策との矛盾が問題

一

政府當局に於ては同問の產業組合貯金課税を來年度より實施する事に決し、之に關する法律案の提出を準備中と傳へらる。この課税は數年來の問題で前年度に於ても反對論多きに顧み實案に至らなかつたものであるが、注目すべきは今回當局決心の動機は反產運動による影響でなく、地方銀行の小口預金激減の趨勢を轉じて產組貯金課税に走らした結果と言はれる。銀行業者も產組關係者もその成行に刮目してゐるが、產組貯金課税の是非は、理論を言へば際限ないもので、實際的討議のポイントは現狀に於て、課税を行ひつつ組合金融の改善をなし得るや否やに歸すると思ふ。

二

我國の信用組合並に其聯合會組合が有する貯金は實に十五億円を突破し、內地最近くは最近數年間の增加に歸する。之が更に中央會の第二次三ヶ年計畫によると、地方に於ける部所、貯組の貯金增の二兩は產組の手に吸收すべく豫定されてゐるといふ。從つて斯くの如き組合貯金の增勢に對し、多少の課税を行つても、或は其の增加は大して抑壓されずに濟むかも知れぬ。然し乍ら組合側に言はすと、組合の信用事業は今日の情勢を以て兩立すべきものに非ず、從來の資金關係は整理時代政府の低資を吸收した幣が多かつた。從つて今日迄は增加する貯金も積極的に運用することが出來なかつたものである。

三

然るに今日では大體整理時代を拔け、自己資金需要は愈々增大するに反し、政府低資の如きは時局關係もあり減少することを覺悟せねばならぬ情勢にある。故に組合は今後自己資金を多く蓄すべき立場故、貯金の吸收は一層緊要となる。從つてこの矢先に課税されることは政府の產組助長政策に矛盾を來すのみならず、今日今後の事情に照して色々難點が見げられる。政府は斯かる難局案を如何に說明し、反對論を屈伏さすの勇を持つか不明であるが、地方銀行救濟のためこの課税を强行せんとする意向が濃厚に現はれてゐる限り前途幾多の論爭を免れまいと思ふ。

天晴れ・南京に肉薄
東方五粁、高橋門に殺到
待望の占領は一兩日中

（句容六日發同盟）强行軍をもつて一路南京に進擊中の我が軍は上方鎭を一擧に蹂躪し六日午後一時頃先鋒部隊は南京東方五粁の高橋門に殺到した、落城は愈よ一兩日中に迫り蔣は六日に脫出した模樣

市內は大火災

（上海六日發同盟至急報）六日午後三時半空中偵察に依れば南京市內は大火災を起し黑煙天に冲し凄愴な光景を呈してゐる

海軍機活躍

【上海六日發同盟】艦隊報道部六日午後六時發表 海軍航空隊は六日破竹の勢を以て南京城を包圍攻擊せんとする陸軍部隊に協力、その全力を擧げて南京附近の敵陣地に猛烈な爆擊を敢行し更に敵の退路を遮斷すべく浦口附近を爆擊し何れも致命的大打擊を與へたり

蕪湖も猛火に包まる

（上海六日發同盟）六日終日海軍航空隊は全力を擧げて蕪湖に飛び南京より敗走する敵の退路を遮斷すべく各軍事機關に猛爆擊を加へこれが爲め隨所に火災起り蕪湖は猛火に包まれてゐる

城內の敵兵大動搖

【天津六日發本社特電】確報に依れば南京市內は目下四川、湖北、湖南各省の軍隊に依つて警備されつゝあるが、これ等の軍隊は南京放棄の場合最後の防備に努める役を振り當てられ、何れも不滿の空氣充滿して早くも大動搖を來してゐる、この最後の土壇場に於て蔣介石に對する地方將領の怨嗟の聲は急激に昂まりつゝある

唐生智軍逃げ仕度

（上海六日發同盟）唐生智麾下の一部隊は揚子江北岸防備强化の名目で六日南京より揚子江を渡江し對岸に移動を開始した、此爲め下關一帶は避難民の渡河と相俟ち異常な混亂に陷つてゐる

全市戒嚴狀態に入る

【上海六日發同盟至急報】今朝來南京は異常な混亂に陷り全市忽ち戒嚴狀態に入つた

驀進して土橋鎭に進出

【句容六日發同盟】句容の堅壘を拔き〇〇〇を經て南京に向け驀進中の我が○○部隊は大華山麓を右に見て六日午前十時頃土橋鎭に達した、同土橋鎭は南京北方古同道路と直線道路の分岐點に當り南京守備の重要要衝である

宣城の陷落近し
龍頭山頂に日章旗

【蕪湖にて六日發同盟特派員】宣城に向け前進中の我軍は五日夕刻龍頭山頂上に拠り進路を阻まんとして必死の抵抗を試みる頑敵と猛烈なる山地戰を交へた後これを擊退し六日拂曉感激の萬歲と共に山頂に日章旗を翻へし、更に汪家山を占領、目下雙溪橋の敵陣に肉薄してゐる、これより宣城までは僅々三粁に過ぎず、宣城の陷落も目睫の間と見られてゐる

宣城に突入

【十字舖にて六日發同盟特派員】龍頭山の一戰に敗れ多大の損害を受けた敵軍は朝來潰亂に陷り破竹の勢をもつて追擊に移つた片岡、野副等の諸部隊は街道上を更に躍進し藤田部隊戰車〇臺は正午頃一氣に宣城に突入し頑强に抵抗する敵を蹂躪しつゝある

神出鬼沒、蕪湖に迫る

【宇皇廟にて六日發同盟特派員】神出鬼沒な長野、山田兩部隊は東壩南方の水陸路に姿を現はし高淳の敵を以て敵の背後に肉薄したが又復六日朝には忽然として丹陽湖より蕪湖に通ずる水路の合流點に現はれ蕪湖を東方十粁の地點より脅威しつつあり、蕪湖の敵は續々揚子江を渡り北岸に向ひ退却を續けてゐる

ブラジル新政府は政黨を大彈壓
文化事業、スポーツ以外は嚴禁
大統領令を公布

【東京六日發同盟】外務省着電の公報に拠ればブラジル新政府は現在の各政黨政治團體は何れも國家的政綱を持たず徒らに急激なる社會の改革思想を流布し社會の安寧秩序を破壞するものなりと斷じ徹底的に彈壓を行ふに決し去る二日附を以て大要左の如き大統領令を公布即日實施して政黨並に政治的團體は文化的事業並にスポーツ以外一切の政治運動を嚴禁する事となつた

一、政治的色彩濃厚なる黨派團體は解散を命ず
一、政治團體の使用する旗、制服、徽章等の使用は一切禁止す
一、從來の政黨並に政治團體は文化、慈善、スポーツに限り存續を許可す
一、陸海軍人は政黨並に政治團體に加盟する事を得ず

南京の陷落で
山東も解決
支那兵の動搖著し

【濟州にて六日發同盟特派員】山東平野に陣營を營んで二箇月、我軍は眼前に濟南城を睥睨し一擧に山東を蹂躪するの概を見せてゐるが濟南を中心に黃河南岸の東西の一線に陣地を張つた支那軍は南京陷落近しの報に著しく動搖の色を見せてゐる、黃河南岸の支那軍は新たに東阿（泰安西方五十粁）泰安、萊蕪の線に後方陣地を膠濟線北部の黃河南岸地區一帶に大防禦陣地を築きつつあるが我に迫つた中支作戰軍の南京攻略は山東支那軍の運命を決定するものと見られる

寧陽を爆破

【〇〇にて六日發同盟特派員】五日午後我が〇〇機は黃河を一氣に飛び越え南部山東省唯一の政治軍事の中樞點たる寧陽を襲ひこれを爆擊し多大の損害を與へた、寧陽は今次事變勃發以來濟南に次ぐ敵の作戰根據地である

廣九線空襲
廣東飛行場も襲ふ

【香港六日發同盟】我が海軍航空隊は六日も引續いて敵の軍需輸送幹線なる廣九線を爆擊し午前九時半、林村、塘頭廈の各地に猛爆擊を加へ更に午後一時同廣東郊外飛行場を襲ひ何れも敵に多大の損害を與へた

上海大道市政府
五日浦東に誕生

【上海六日發同盟】明朝上海の先驅となす上海大道市政府が五日浦東に誕生した、市長には蘇叔孝、公安局長には朱玉珍が就任し和平を祈念する宣言書も發布され黃色地に赤と青から成る圓を描いた旗が揭揚された楊樹浦、閘北既に焦土と化し南市亦未だ治安回復せぬ時浦東に逸早く新地方政權の樹立を見た譯である

强行軍で吳家に突入す

【溧陽六日發同盟】溧陽より南京に迫る我が〇〇部隊は烏山鎭より山道を突破しつつ强行軍を續け六日午前九時過ぎには吳家に突入した、吳家より南京までの距離は三十五粁である

蕪湖で敵兵數萬を爆擊

【東京六日發同盟】大本營海軍部六日午後一時三十分發表―敗退する敵兵にして蕪湖附近に蝟集する者數萬に達し、船舶に依り對岸に移動中なりしを以て十二月五日正午頃これに爆擊を加へたるがその際一千トン級汽船一隻を擊沈せり

購入契約機を
ソ聯が讓渡
宋子文の引受けて

【東京六日發同盟】六日某所着電の情報に拠れば前駐支ソ聯邦大使ボゴモロフ氏夫人は佛米兩國の某夫人二名を同伴去一日飛行機で漢口より香港に到着したが右はソ聯が佛米兩國より新たに購入契約を行つた飛行機千五百臺大砲、高射砲、高射機關銃等の武器をソ聯の名義で支那に讓渡する爲めだと云はれ南京政府は宋子文がこれ等武器援收を引受け既に宋子文は米國系銀行より七百萬ドルの預金を引出し廣東銀行に依賴して保證金に充てる事となつたと云はれてゐる

飽迄ソ聯の反省を促す
朝鮮人强制移住問題に關し
情報部長談を發表

【東京六日發同盟】極東ソ領に在住する朝鮮人强制移住問題に關しては外務當局にて再三ソ聯當局に嚴重抗議を重ねその反省を要望する所あつたに拘らずソ聯側では未だにその誠意の見るべきものなきに鑑み當局では六日夕刻左の情報部長談を發表しソ聯側の誠意ある嚴重反省を求める所あつた

情報部長談

極東ソ聯領には革命以前より多數の朝鮮人が居住して居つたが昭和七年には其數約二十万に達し大部分は沿海州、烏蘇里州方面に於て農業に從事し米、麥、蔬菜、煙草等主要農產物の耕作に當り又商業等に從事し何れも平和的にその經濟生活を營んで來たのであるが然るにソ聯政府は本年九月初より之等の朝鮮人を强制的に中央アジア方面に移住せしめる事とした爲め朝鮮人は永年の居住地を棄てて多大の不安裡に異域に向つて輸送せられつつある現狀である、朝鮮人は韓國時代からその國籍を離脫する方法がなかつたのであるが帝國政府はこの制度を繼承してゐるので朝鮮人は假りに他の國籍を取得しても等しく帝國臣民たることには變りなくこれは代々ソ聯に居住し來た朝鮮人についても全く同樣であるが然るに在浦潮帝國總領事館に登錄せられ明かに帝國の國籍を有するもののみでも昭和十一年十月一日現在において九百七十八人に達する次第である依つて帝國外務省は在ソ帝國大使館に訓令し强制移住に對し十一月十二日ソ聯側へ嚴重抗議せしめ特に約一千人の朝鮮人についても調査方要望せしめ更に十一月二十七日外務人民委員部より朝鮮人に對するソ聯籍を主張し我方の抗議を受容れ得ない旨回答し來たがその理由なきことは明かであつて我方としては引續きその主張を固持し更に適當の措置を考慮することとならう

南洋各地に
領事館增設
外務省通商陣擴充

【東京六日發同盟】外務省では通商陣の擴充に備へて今年度より南洋各地に領事館を新設することに決定してゐたが愈々此程ウエリントン（ニユージーランド）總領事に現新嘉坡總領事郡司喜一氏を、メナド領事館（蘭領印度セレベス北部）にはカルカツタ總領事代理の野々村雅二氏を領事代理に又英領北ボルネオのサンダカンには桑港副領事桑折鐵次郎氏を領事に夫々任命し近く赴任せしめる筈、之等の地方は將來日本品の市場として頗る有望視されてゐる

保險課新設
初代課長は山下參事

台灣に於ける簡易保險事業は年々膨脹して最近に於ては四十万件一億円を突破し運用金も千八万円を超過する盛況にあるので遞信部では從來爲替貯金課の一掛たりし保險掛を獨立せしめ同課を業務、運用、整理の三掛とし、山下爲替貯金課長をして初代保險課長を兼任せしめ同時に掛長を左の如く任命し六日遡つて十二月一日附左の如く發表した

遞信部爲替貯金課長 交通局參事 山下仁
兼任遞信部保險課長兼同爲替貯金課長を命ず
交通局書記遞信部保險課 上瀬安次郎
保險課業務掛長兼同運用掛長を命ず
交通局書記遞信部保險課 及川富藏
保險課整理掛長を命ず

ハウ氏上海へ

【香港六日發同盟】イギリス代理大使ハウ氏は六日午後イギリス汽船で上海に向つた、香港に於ては香港總督、ヒユーゲツセン大使、宋子文等と會見した

佛波兩國の外相が會議

【ワルシャワ五日發同盟】ワルシャワ訪問中のフランス外相デルボス氏は五日午後ポーランド外相ベツク氏との間に非公式會談を行つたが右會談に於いてポーランド外相ベツク氏が植民地問題を提起したと傳へられ多大の注意を喚起してゐるがポーランド政府筋では五日斯かる事實無き旨を言明した

冀東自治政府も
新政權に合流
樹立と共に解散の模樣

【北京六日發同盟】冀東防共自治政府は成立以來茲に二ヶ年其間國民政府の凡ゆる迫害壓迫に抗して頑張り來つたが今次事變に依り北支の情勢全く一變し國民政府の壓迫も無く北支の新政權誕生も切迫するに至つたので新政權の成立と同時にこれに合流し地方政權としての冀東防共自治政府を解消するに方針を決定した模樣である

古莊軍司令官
高雄へ出張

古莊軍司令官は高雄要塞司令部閱兵式臨場の爲遠岡副官、奧村參謀を隨へ左記日程で高雄へ出張する△八日 午後一時半臺北驛發△九日午前九時半高雄着、十一時閱兵式に臨場、午後三時二十三分高雄驛發、同六時十二分嘉義着（嘉義泊）△十日午前十時半嘉義發同三時五十六分臺北着

人事

▲泊武治氏（交通局總長）中南部出張中のところ六日午後急行にて歸北
▲永戸春治少將（新任馬公要港部司令官）七日高砂丸で着臺
▲賀田以武氏（賀田組社長）七日來臺（鐵道ホテル）

天無口

今次聖戰の趣旨は、改めて說明するまでもない事であるが、南京の陷落を機會に、一層その徹底を圖るべく、崇高なる使命と、併せて帝國の毅然たる態度を中外に闡明する必要があるといふ、その時も既に目睫の間に迫つてゐる▲而してその目ざす所は、畏くも詔勅に垂示されてゐる所の「東洋永遠の平和の基礎を確立」するに在るのであつて、今次事變の崇高なる目的は實に此處に明示されてゐるのである、此の詔勅を奉じて起つてゐる以上、畏き思召に添へ奉るまではどこまでも徹底さすのは當然であつて、それは全國民打つて一丸となつての責務であり決意でもある▲以上に依つて自ら明白であらう▲上海占領後今日まで、台灣島內の各官民團體から、親しく現地に慰問使を派遣し度いと、代表派遣の申込が殺到し、軍司令部の長崎高級副官や總督府の山縣內務局長の所に、矢も楯もたまらぬ熱望を出て來てゐるが、現地の都合もあり、目下は激しい戰爭最中の事でもあるので、何れ適當な時期を見て…といふ事になつてゐるさうだ。

野村生命
社長 野村惠二
專務取締役 西村勝太郎
相談役 野村德七
今般社長栗山䮶雄辭任ニ付野村惠二後任ニ當選就任致候
東京 日本橋

船腹不足が影響し 十一月の局鐵收入減
累計では客車のみ増加

十一月に於ける局線運輸收入は船腹不足の影響で振はず貨物輸送に於て増加を示せるは僅かに米、石炭、肥料のみと云ふ最近珍らしい不成績に終つてゐる、客車は二百円の増收を見せてはゐるが貨車の減收八万円を補ふべくもなく昨年同月に比し五万六百十八円の減收となつてゐる、年度累計に於ても客車増收の二十八万二千円があるのみ、貨車は僅かに二百二十八円増を見してゐる、累計及び貨別收入及び前年との比較増加額を示せば(單位千円)

客車	六六八七	五八一
貨車	九六八六	〇一一
合計	一六、〇五	五六八

で十一月に於ける累積は左の如し
收入(單位円、△印減)

客車	五九六、九七一	三三一、八二
貨車	一、一九六、一二五	△六二一、七九六
合計	一、六八八、〇八八	△五〇、六一八
乘車人員		
合計	一、五四四、〇二三	△三〇、〇二八
貨物發送數量(單位噸)		
米	一〇七、〇五五	一七、四八
砂糖	二八六、一八八	△二一、二〇六
石炭	二八、一九一	六〇三
肥料	五四、八五四	九、八〇七
木材	二五三、八三六	△一五、八六六
糖蜜	四、六三〇	△一、四〇四
石油類	四、五七一	六〇四
西瓜果實	六、八二〇	△二三、三五八
煉瓦	九、五五一	△一五、六〇
洋灰	一八、九〇四	△一〇、三五一
其他	一〇二、三〇四	△二六、五五九
合計	五五五、一〇八	△八四、五〇九
累計	四、二一四、五五五	一五一、五七一

鑛務移出分を肩替りしてゐる關係上島内へ貰るわけに行かぬと答へて置いた云々

臺灣パルプの目論見は堅實主義
亞硫酸法で年一萬五千噸
工場は臺中、彰化間に建設

紙原料用物と黄麻、パルプ工業創設の用務を帶びて上京中の昭和製糖專務山宮藤吉氏は去四日大和丸で歸臺したが、パルプ工業の目論見と株式募集の調製氣につ いて次の如く語つた

我が國紙業界はパルプ不足に苦しみ之が補給策に頭を悩ましてゐる際である、此の

時運に 促がされて生れ出でんとする臺灣パルプ工業は日糖、明和の兩社が主なる出資者となり日糖の彰化、烏日、明和の沙鹿、苗栗、竹山の都合五工場からバガスを供給し最初はそのバガス全部でなく一部を以て年額一万五千噸のパルプを生産し行々製糖工場のボイラーを改造し石炭燃燒専門のものとし、バガス全部をパルプ化し年産三万噸に及ぼす計畫であり云はば會社が原料を自給すると同様、製糖業の續く限り之を永久に確保し得る所に

強味が あるといふので内地の投資家にも歡迎され紡績の如きは鐘田社長が赤司氏の事業を理解してゐるからでもあらう一手に二万株引受けたいとの申出でがあつた位であるが、之を一万株にへらしてもらつて日糖と明和の兩社も十万株迄の希望を讓歩し各七万株迄に制限したやうな次第で主なる發起人十人で九千五百株を引受け殘り四万五百株を内地投資に向け [illegible]

發起人 と贊成人とで引受けやうといふ事になつてゐる、パルプ工場は臺中市外、卽ち臺中彰化の中間に建設する豫定で既に技師は渡米中であり明年十月迄に [illegible]

控目に 見積り能力年分 [illegible]

十錢に 抑へて採算し [illegible]

亞硫酸法は先ずないと同じてゐる次第、パルプの市價が將來どうなるかは斷言出來ぬが假令十錢まで下つても右の採算で十分立つて行ける所に將來性の確かさがあらうといふものだ

同糖價に就ては新糖現物が最近十二円五十錢位に上つて來たが今後も此辺が中心點で大して下る餘地はない、赤糖も殘務移出の協定で更に角安定し新糖が十六日迄で賣れてゐるのは品ガスレの爲でもあるが、一つは明年の需給に見透しが付いてるからだらう、相當出廻つたら多少下らうが前期より安いことはあるまい、明和の赤糖を島内で賣らしてくれとの申出でもあつたが

バナナ纖維は 愼重に研究中
加藤臺拓社長談

加藤臺拓社長は七日發大和丸にて上京するが六日左の如く語つた

久宗副社長が歸つて來たし、高山理事も近く歸るので東京出張する、バナナ纖維會社は資本金五百万円で臺拓が半分、後の民間が四分一、民間四分一の割合で組織したいと思ひ目下準備中である、然し同事業の難點はバナナの幹が九十七%五も水分を含んでゐるので之をその儘運搬するわけに行かぬ、それで之を畑で農民婦女子の手によつて操作の出來る簡單な、組織纖維の機械を造り出すことで目下之の研究をなしてゐる、誰かよい機械を考案して呉れる人があればパテントを一、二万円で買つてもよい、臺灣にあるバナナの幹は生で年百万噸、之より纖維を二万五千噸取れる、それから七割五分の人絹パルプが出來るから二万噸の人絹パルプが得られる、然し皆んな利用することは出來まいから先づ最初は五十 [illegible]

能力を倍加し 電化した苗栗製糖
本月二十七日に試運轉

昭和製糖の苗栗製糖所は能力五百噸を一千噸に擴張すると共に工場製糖所同様電化裝置を施すことになり先に改造工事中であつたが、時局の爲め懸念された機械の製作も内田技師長が永らく内地に出張し製作所で製作を監督して居り一部は既に部分的運轉を行ひ製糖開始は明年一月中には全部據付を終へ二十七日に試運轉を行ひ [illegible]

新糖の出廻り 續々と高雄港へ
第一船は六日發東京向け

【高雄電話】本期新糖は數量僅少ながら續々と高雄港に到着してゐる、六日朝までの到着累計は日東商船組取扱の大日本製糖出一万六千担、台灣製糖出六千担、台灣運輸組取扱の新興製糖出分八百十五担計二万二千八百十五担である、配船は船運轉決定以來、本社との間で種々協議中の所、近郵の日吉丸が第一船を承はり台灣製糖高雄三兵店前埠頭から出廻つた百六十斤入原料糖一千担を積取つて六日夕刻東京に向けて出帆した、之が本期新糖の内地市場へ向けての初荷である、朝鮮市場へは既報の如く、日本製糖高雄工場よりの原料糖三千担を八日出帆の岩手丸で初搬出するが、北支市場への初荷は朝鮮仕向より一日早く七日出帆する山西丸で大連に向け積出す、數量は台灣製糖産出の消費糖百七十斤入千四百九十担で、今後大に期待されてゐる

臺灣貿易累計 六億九千萬圓
前年に比し八千萬圓増

財務局稅務課調査にかかる本年一月以降十一月中の台灣貿易は、輸移出一千八百五十万円にして前年同期に比し八十五万円減、輸移入は二千七百二十四万円にして七万円減となり、差引九十二万円の入超は四十五万円増で台灣貿易累計は四億五千七百二十一万円で一億四十八万円の出超を示した

一月以降累計に於ては輸移出四億三百八十四万円で前年同期に比し五千五百四十四万円増、輸移入は二億九千五百四十四万円にして二千二十八万円増、總計六億九千五百二十八万円で八千四十七万円増、差引出超一億一千二百二十九万円(單位千円)

[illegible]

内外商況欄 (六日着電)
米期 期近續奔騰に 先四圓臺の新高値

堂島米況前場
【大阪六日發同盟】休日明け場面は正米騰勢、東京高に三十二円七十九錢と二十四一方上放れて寄付き期近限が逆に連れて更に九十八錢と上伸し引値は賣方の崩れ買出しに中限の四円臺突破と相俟つて先限も四円十錢と新高値を示現して前場を終る

堂島米況後場
【大阪六日發同盟】後場は當限の買持玉整理化と賣物積み先限は三十四円二十錢と新高値に寄付き利喰に十二錢と反落各限高に引値は結局十七錢と強含みに引けた

堂島雜觀
【大阪六日發本社特電】正米依然下げ目なく、現物高からマバラ賣方の物積に上る買ひ米懸念によされこの限り買方に應じる者なく賣れ條件なく期近中心新 [illegible]

[illegible]

丸糯は大煎れ
沖十四圓臺へ 貰ひ米成立

【神戸六日發本社支局特電】株高定期高に底堅く保合つてゐた丸糯も既報の通り大煎騰を演じ中部二等近入十四円五十錢、十一月十二日限十三円九十五錢、年内も同値、一月限十三円九十錢出來アト十四円買人と新高値に買上ぐ、之が熱鐵は期米高の影響もさることながら最大需要期を目前に控へてゐた實需筋が貿ひ始めたのとその上に船腹不足が拍車をかけ大煎れとなつたものである、この氣配を察した軟派では五日の日歩にも拘らず十三圓七 [illegible]

期米沸騰に 丸糯爆發
受米聯盟說に 天井知らず

休日中の場外氣配は一段の高値を付けた丸糯は六日中場以來の三十四円十錢強に沸騰を好感し十二月物は早くも十三円強に唱出し一月物日限十三円四錢新甫設舍の一月二十日限は十三円十四錢の高値に生まれた、後場は受渡休會前と午後五時場外の氣配は買方受米聯盟說に買氣が殺到し十二月十五日限十三円十一、二錢まで買進まれた發端は市場十一日五、六錢と爛進し休日前より僅か十七、八錢高けて丸糯の四十錢高に較べて大割負けを見せたのは例の相中止に依る現米限直氣構へである

丸糯は先積
十月以降蓬萊の 積出を見合せ

十錢見當にて約五千袋貰米成立したと言はれ [illegible]

臺北手形交換所
十一月分帳尻

臺北手形交換所調査による十一月中の手形交換高は二万五千六百一枚千八百八十七万円二千八百十一円、交換額七百二十六万二千八百十一円、前年同月に比し枚數で千四百五十四枚を增加したが金額では却つて一百九十七万七千百五十七十円を減じ交換金額も二百七十七万七千六百五十万円で五十枚、金額で百二十三万二千二百三十円の減である、然し當月中の手形は小切手二枚四百五十五円で前年同月の四枚に比しては一枚を減じたが金額では九十一円の増加となつてゐる

鐘紡は大爆騰
戰捷相場大展開

兜町前場況
【東京六日發同盟】長期…南京陷落目睫に迫るとの快報に接し休日明けの今朝は人氣一層强化し一齊に軟派の踏み物殺到して、紡績株の二十五、六円方の大儀騰を筆頭に五十錢、新東一円方何れも騰し、富士紡日活一円五十錢、日活新四円十錢等 [illegible]

砂糖 現物好調に 引締る

島内商況
正市 一齊奔騰 丸糯蓬萊

財界株界

[illegible]

米界閑談

[illegible]

大阪期米後場

東京期米後場

神戸期米後場

東京長期前場

東京長期後場

東京短期後場

大阪長期後場

大阪短期日歩(前位錢)

大阪短期取組(六日本社特電)

大阪重要商品

大阪砂糖清算後場

大阪砂糖現物

神戸豆粕前場

神戸豆粕後場

神戸穀肥市中相場

大阪綿絲後場

大阪棉花後場

大阪人絹後場

横濱生絲後場

神戸琉安相場

下關麥粉相場

大連特産前場況

臺北籾相場

臺中米價(六日)

臺米現物相場

[illegible]

第四期決算公告
臺灣苧麻紡織株式會社

第參拾九回決算公告
臺陽鑛業株式會社

御國の爲めに節約して お客の晴着は新趣の 土屋衣服店

株金拂込催告
臺灣合同電氣株式會社

大阪商船出帆 (臺灣)

近海郵船出帆 (基隆)

辰馬汽船出帆 (基隆)

大連汽船 大連直行

歲の市全商品赤札附大賣出し

全商品赤札付大値下げ

人氣集中の店！松井

十二月七日より 商品奉公の實 全商品に赤札を付け松井獨自の特賣 赤札を見ただけで買はずに居られぬ品ばかり

新春の晴着入荷

圓 松井呉服店 臺北市榮町 電話二〇四・四五一番

年の市大賣出

御買上一円毎に一枚宛進呈仕候 大當り千円抽籤券

歲暮御進物品 歲暮サービス品

鎌野時計舗 臺北市榮町三丁目・電話二八二一番

極寒ノ山野ニ戰フ皇軍將兵必需品！
防寒保溫用 羽毛大チヨツキ
皇軍慰問或ハ同遺族ヘノ御歲暮ニ一日モ早ク御スヽメ致シマス
一着金七圓也
臺北市表町一丁目 歐米羽毛直輸出元 公隆洋行
臺灣日日新報社運動用品部

誠 迅速 池田商店

原始人と猛獸

永い闘争の遺跡　地中海のマルタ島に

昭和十二年頃、地中海のマルタ島の洞穴内で一匹の人骨と猛獸の骨とが發掘されたことがあつた。しかしこの人骨と巨大の猛獸にあつて西紀前一万五千年頃に絶滅したネアンデルタール人の遺骨だといふ事だが、最近、同所で發見された北京人類アンド・ローブ・ペキネンシスと、更に相關して興味ある原始人骨とされてゐる。

◇

學說に依れば、當時歐洲はアフリカと陸續きであつて、マルタ島あたりが一つの陸地で、獅子が棲んでゐたといふことである。ネアンデルタール人は今日南歐地方の土人が獅子を同じく追ひ込んで、之に對抗するの同様な手段で猛獸を征服したものであらうといはれてゐる。

◇

この事から見て、此時代の人類と猛獸との間に壮烈な生存闘争が展開されたことが推測される。その頃人類が用ひた武器は、石器とか棍棒とかいつたやうなもので、人類は未だ金屬を用ひることを知らなかつた。ネアンデルタール人が生存してゐた時代から現在までに凡そ何千万年経つたか判明しないが、永い闘争時代があつたことだけは明だ。

◇

そこで人類は猛獸との闘争にどうして滅亡しなかつたか、また何うして猛々と之を征服して來たかと云ふに、それは腦力が猛獸より發達してゐた上に、同族が團結して互ひに相援助し、その力によつて他動物に對する攻防を巧に行つて來たからである。

この時代既に人類には無意識のうちに同族相結合し、進んで攻め退いて守るといふ一種の防備ある社會らしいものを結成してゐたといへる。勿論同種族が相結合し、相提携するのは生物自然の本能であつて今日と雖も到る處の村落など犬が怪しいと思ふものを見た時は、野犬はこれを吠んで吠え立てる事と同様に、昔の猛獸も亦同族相團結し、相進退したものであるから、彼等の間にも一種の社會や防備隊らしいものがあつたと見られる。

人類も亦野犬の如く初めは無意識に本能の作用によつて相團結してゐたが、久しきを經た後意識的に結團し、この集團の中から方法が立ち意識が生じ、そこに一個の部落が生れ、部落から民族が自然に發生した。さうして民族の利益を保護し、その目的を達成し民族内の利害を調節するために政府といふやうな組織を作り、更に國家を建てるまでになつて來たのである。

四つの繪が語る　短劍の謎

A・B・Cの起原か？

ロンドンのウエルカム考古學研究所に、西暦前一、六〇〇年頃の短劍及び青銅製の短劍が保管されてゐる。これは三年前の發掘でパレスチナの文化の基礎をなすアルファベットの起原を研究する上に重要な手掛りを與へるものとし、同研究所の專門家は慎重な研究に没頭してゐる。

この劍には今のところ依然として謎のまゝ解きかねる點がある。この劍はエルサレムの西南方千八哩の地點テル・デュニャーと言ふ所で發掘されたもので、恐らく古代ラキシュ人・ユダヤ人の西暦前十七世紀頃の遺物であらうと見做されてゐる。

しかしこれについて異説が紛れてゐる點は象形文字らしい繪に四個の繪である。各々の繪が恐らく一つの音標、乃至は一つの音節を持つものであらうと推定されてゐる。この劍に刻まれた四個の繪は、見事に形の異なつた人頭の繪でアルファベットで、第一と第二は明らかに蛇と鷲だらうと見られてゐる。次の二つは未だ定かならしく、何等かの繪が描かれてゐるが、その何ものかなるは今のところ判つてゐない。

以上四つの繪が何を意味するかについて、今のところ何一つ判明してゐないが、恐らく所有者の名前か、製造者の名前を意味するであらうと推定されてゐる。

何故この劍が考古學的に重要な價値を持つかと言へば古代の文字の謎を暗示するのみでなく、これがエジプトの象形文字、メソポタミヤの楔形文字と表象文字を異にした前の象形の原始文字だといふ點である。紀元前一、六〇〇年には、エジプトにもメソポタミヤにも立派に文字が存在してゐた。これらとパレスチナに於けるそれとは異るのである。

パレスチンの文字はフェニキア人による改良をへて現在のアルファベットの起原をなすものではないかとみられる。アルファベットの歷史は、そのずつと後代の部分は汎く探究され盡してゐる感があるが、發生の當初の點に於ては殆ど判つてゐない。ただ、ラキッシュ人の象形文字からであらうと推論されてゐるに止まる。

數年前、シナイ半島でプリンス・ペトリー卿が發見した記號は既に繪の域を脱して文字に近づいた記號であつた。更に前記の場所で紀元前十二世紀のものと推定される劍が發見されたがその表に記された記號は更に一層文字らしく進化したそれであつた。

日本壁に對する　防音板の保溫作用

室内保溫の科學的研究（下）

近年に於ける交通機關の發達、ラヂオの普及及び諸種軍需工業の異常な發展に伴つて都市の騒音は逐年甚しく、これが防止については各方面から研究され、殊に近時家屋の建築に際して防音板の使用せらるることが、漸次增加して來た。ところがこの防音板の使用が保溫作用にも少なからぬ影響をもつことは想像されるのであるが、その研究については未だ見るべきものがないやうである。そこで氏は防音板トニリート、アスファルトコルシ、テラマッテ、アスファルトコルシ板及び保溫マッテの四種に就て研究された。

その結果によると諸種防音板の保溫效果は障房に當つても保溫作用を現すもので、保溫附加絶緣法共に、これと無限の無構板の壁の場合に比し可なり著しい時間と熱量の節約が明かにされた。そしてその作用は、防音板中トニリートが最も弱く、其の熱の節約程度は大約七・一％（保溫附加法）乃至四・〇％（暖加絶緣法）であるが、テラマッテを使用するときは、実に二四・〇％（保溫附加法）乃至一八・九％（暖加絶緣法）を節約し得たのである。アスファルトコルシルの保溫作用はこの兩者の中間に位する。而して保溫マッテは特に保溫效果著しく三九・一％乃至三八・九％の熱量を節約することが出來た。優秀な保溫作用を有する防音板テラマッテも、その構造は略々保溫マッテと同一であるが保溫作用に於てはこれより遙かに劣り、保溫マッテよりも一六％乃至六％内外の多量の熱を要した。

×

何れにしても防音板の保溫作用は、これらの構造によつて室内溫度の壁に攝取せらるるのを防止する結果である。固よりこの際防音板自身も室内溫度を吸收するが、これらは何れも極めて薄いものであるから、その容積は壁に比し遙かに少なく、從つてまたその吸收量の少ないことは自ら明かである。

×

二重戸のよく室内溫度を保持し得ることは、吾々の經驗するところで、最近は日本家屋でも所謂内縁及び保溫と稱する建築様式が盛んに用ひられてゐるのを見る。しかしこの保溫作用を實驗的に檢索されたものは少ない。そこで氏は左の如く普通日本家屋に用ひらるる、内縁の二つの様式即ち外戸は硝子で内戸の障子であるものと、外戸、内戸共に硝子戸といふ二種の模型室を作り、且つ戸の間隔を各々に変化せしめて、これが一枚戸に比して室温保持上にどんな影響があるかを檢索された。

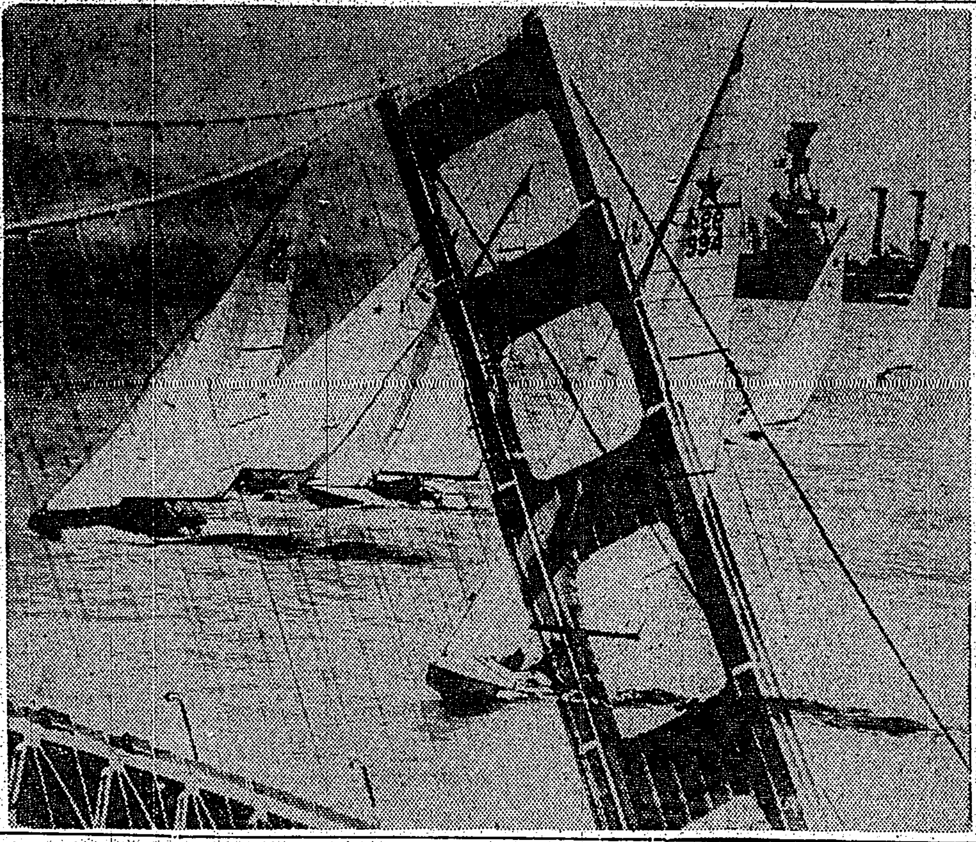
A 内戸、外戸共に硝子戸の場合

保溫附加絶緣法共に内戸、外戸を密着せしめるときは、一枚硝子戸に比し三九・七％乃至二四・五％の大量の時間及び熱量を必要とする。これは熱の傳導率の高い二枚の硝子板の密着によつて、その厚さを増し、多量の室溫を吸收する結果と見られる。しかし、兩戸の間に間隔を作るときは、所要時間及び熱量を減じ著しい保溫作用を現はし、就中その間隔一糎のときに最も强く、時間に於ても熱量に於ても二〇％内外の節約をなし得、それから間隔の増大につれて保溫作用は漸減し、八糎ともなると全く保溫作用を現はさない。

B 内戸は障子で外戸が硝子戸の場合

この場合も前の場合と同じく保溫作用は兩戸間の距離一糎のとき最も强く、時間に於ても熱量に於ても約三五％の節約をなし得、兩戸間の距離の増大するに從つてその效果は減少するが、また、内戸の障子を外戸の硝子戸と密着せしめるときにも、なほ可なり著しい保溫作用をなす。これは障子紙の熱放散は主として輻射によつて行はれ、而もその程度は硝子板の傳導による熱の放散よりも大なるため硝子板の密着によつて障子紙の輻射を防ぎ、これを不能とするためである。それで單に硝子戸に紙を貼ることも保溫上少なからぬ效果を舉げ得るものと考へられる。

以上の結果から考へると内縁の有無に拘らず、また一枚戸であると二重戸であるとを問はず、一般に加溫中止後に於ける室溫下降の状態は、徐々に加熱する方法が有效である。しかし室溫を一定の溫度まで上昇せしむるには急激に加熱する强加熱法が遙かに經濟的である。



カメラの驚異

藝術的寫眞、カメラの持つ驚異の一つ　米國の世界に誇る現代科學の驚異ベイ・ブリッヂと海軍の精銳及び藝術的スポーツ、ヨットの白帆を配した二重寫出による

新しいガス　手榴彈の發明

我が皇軍は北支に、上海戰線に勇猛果敢の前進を續けてゐるが、この皇軍の急進を阻むものは城壁と堅固なトーチカの防備である。そこでこの障碍物の突破に際し、我が兵士を苦しめるものは手榴彈の雨であることは日々の紙面で報ぜられてゐるところだが、最近この手榴彈について新しい發明があらはれた。

それはアメリカのピッツバーグにおける發明家アレキサンダー・ロウイの發明になるガス手榴彈である。このガス手榴彈は一つで三つの役割を果すといふから素晴らしい。

……

この手榴彈も赤手によつて投げられるものであるが、これは三つの區劃された部分から構成されてゐて、各々分離せられた爆藥の間にガスを撒布せしむる様な裝置をなしたものである。

特許番號は二、〇九四、五六二番であるが、この特許權は發明者から同じくピッツバーグの、研究所同盟に讓り渡された。

……

この手榴彈は三つ或はそれ以上の區劃にガスを包含するやうに造ることが出來る。即ち發火藥は强力な爆藥を十分に詰めその上ガスを撒布せしめるやうにした區劃が各々に裝置する。ガスの撒布はこの區劃せられた中からばかりでなく、手榴彈の殘餘からでも十分に撒き散らすことが出來る。

實際使用するときは、第一區劃の爆發後、次の區劃が爆發する。かうして爆藥の裝置がつきるまで爆發し續けるといふのである。

大洋の神秘

大西洋上の汽船を驚かせた　彼のいたずらの數々

イギリス汽船ベントリッヂ・ヒル號がロッテルダム港（オランダ）から出帆してアルゼンチンのリオデ・ラプラタ港へ向ふ途中、南大西洋の眞中で、陸を五哩に距る海面が、極く淺い海でなければ見られない小波をたたへてゐるのに出會つて驚異の眼を見張つたといふ。

× ×

また、アメリカの汽船ジュラアーソン・マイヤーズ號は、パナマ運河のバルボアから、カリフォルニヤ州のサンデイエゴに向ふ太平洋上で、異な現象にぶつかつた。海の色が一線を劃して、南方は深い碧色で、北方は暗綠色をしてゐたのである。試みに、その海水の溫度を計つてみたら、南側の碧色の水溫は華氏八十四度で、暗綠色の北側の海水は六十八度といふ驚くべき相違を示した。この船がその二つの海流を横ぎつた時、海水の溫度に際して船上の氣温も忽ち激變したといふ。

× ×

これはハワイからカリフォルニヤへ航海の途にあつた話。アメリカ汽船ノーファル號が遭遇したこの太平洋の海は、まるで深い海の底で、巨大なプロペラーがゆるくと回轉してゐるのではないかと思はせるやうな、一條の海流が流れてゐた。そこでは絶えず海面が泡立ち、奇妙な波のうねりを見せてゐるので、乘組員は眼を見張つたといふ。

これらは何れもごく最近のニュースである。

宇宙線を利用せよ

イタリー、パドヴアのブルノ・ロシ博士は宇宙線についての一權威であるが、最近紅海に面するイタリー植民地、エリトリアに赴き研究を續けつつある。而して同博士は最近の研究の結果を發表して次の如く述べてゐる。

地球の圏内に到着する宇宙線の一部は百億ボルトの電力を持つであらうと推定される。然るに現在醫學用乃至は實驗用としてX線或はニュートロンのために利用してゐる電力は高々百万乃至二百万ボルトが最上である。現在まで實用に供する術を知らなかつた外界からの『天與』の放射物を利用するみちを講じなければならない」と主張してゐる。

誰にでも　癌細胞は存在する

「誰にでもいくらかの癌細胞は自分の體内に保持してゐる」といふことを、最近コペンハーゲンのカールスベーグ研究所のフイッシャー博士が發表した。

フイッシャー博士は、その研究の結果よりして、癌細胞は現在各人の體の各細胞に存在してゐる。それを、『普通の細胞組織の一變種である』と信じてゐる。そして體内に癌細胞を保持しないといふことは、單にその保持する癌細胞が極めて少ないといふことであり、そして癌細胞が簡單に成長するこの機會を持たないためである。

老年に至つての、癌性的な細胞の迅速な增殖は、癌の繁殖となる。これが必要なる實際的要素である。

『常に存在する癌細胞が不治の惡性腫瘍に發展するものである』とフイッシャー博士は言つてゐる。

科學小話

ブルガリヤ政府は數年後に五〇の完全な設備をもつ病院を建設するプランを樹てた。現在の衛生設備の缺陷からか、同國の乳兒死亡率が甚だ高いことを痛感し、この傾向を除去せんとする努力の現れである。

× ×

アフリカはその昔、その全土が綠したたる森林に覆はれてゐたに違ひないと發表した動物學者がある。これは今もアフリカに棲む鳥類の分布の研究に基く意見である。

× ×

動物の肉の香味は、大體に於て年齡に正比例するものとされる。

× ×

ガラスから得る纖維は大分に發達して、今では、ステープルフアイバーのやうな形態のや、絲様に長いのやいづれからも織物がつくられる迄に至つた。

× ×

さき頃開かれた、モスクワの兒童祭のとき、モスクワ動物園は第二の國民たちに、リスや、オウムや、伊孤の生きたのを一萬五千匹贈物にした。

一流藝術家總動員

好評噴々たる優秀盤五枚一組一円七十錢均一

十吋盤両面　電氣吹込

新譜通信大特賣

時局レコード

① 愛國軍歌集
② 愛國流行歌集
③ 軍隊ラッパ・愛國歌

浪曲界の巨星　三代目吉田奈良丸

④ 吉田奈良丸浪曲集
⑤ 吉田奈良丸浪曲集
⑥ 吉田奈良丸浪曲集
⑦ 吉田奈良丸浪曲集

廣澤虎造

⑧ 廣澤虎造集
⑨ 廣澤虎造集
⑩ 廣澤虎造集
⑪ 廣澤虎造集
⑫ 廣澤虎造集
⑬ 廣澤虎造集
⑭ 廣澤虎造集
⑮ 廣澤虎造集

天中軒雲月嬢

⑯ 天中軒雲月集
⑰ 天中軒雲月集
⑱ 天中軒雲月集
⑲ 天中軒雲月集
⑳ 非常時流行歌集

流行歌の人氣者　東海林太郎

㉑ 東海林太郎傑作集
㉒ 明らか流行歌

淺草美ち奴

㉓ 淺草美ち奴集
㉔ 淺草美ち奴集
㉕ 淺草美ち奴集
㉖ 淺草美ち奴集
㉗ 映畫說明
㉘ 映畫說明　軍事劇
㉙ 和洋合奏集
㉚ 特選端唄集
㉛ 端唄傑作集
㉜ 新選端唄集
㉝ 軍國俚謠・小唄集
㉞ おなじみ俚謠集

送料　内地　一組　〇、三三　二組　〇、五七　三組　〇、八八
海外　一組　〇、六二　二組　〇、八一　三組　一、〇〇
外は臺灣、朝鮮、滿洲、關東州、樺太、南洋向送料

◇御用命の節は番號を御知らせ願ひます
◇本仕品で御座いますから故組替は御容赦願ひます
◇纒めて御買ひになれば送料がうんと安くなります
◇「代引」手數料は五錢増

大阪梅田　阪急百貨店　通信販賣係　振替口座　大阪八〇九番